

# 平成25年度事業報告書

自 平成25年4月 1日  
至 平成26年3月31日

## 総 括 的 概 要

平成25年度のわが国経済は、アベノミクス効果により、円高是正や株価の回復が進み、企業収益が改善されるとともに、個人消費も堅調に推移し、加えて公共事業の拡大により穏やかではあるが景気回復を取り戻しました。

北海道経済においても、建設、観光といった裾野の広い産業が好調さを取り戻し、関連する産業にも好影響を与え、緩やかに景気回復が見えてきたものの、中小企業や地域においては、十分に回復を実感するまでには至らなかった。

こうした状況下にあって、当商工会議所は商工会議所に課せられた責務を銘記し、関係機関・団体との連携を密にし、当面する景気対策はもとより、地域経済の再生・振興、社会資本の整備等への対応についての要望等、各般にわたる施策の展開を強く求めるとともに、商工会議所の重点事業である小規模企業振興対策は小規模企業者の経営基盤の強化と健全な発展に資するため、各種事業の推進に努めた。

# 事 項 別 状 況

## 1. 定 款 及 び 規 約 等

### (1) 定 款

本年度は定款の変更は行わなかった。

### (2) 規 約

本年度は規約の変更は行わなかった。

## 2. 組 織

### (1) 会 員

#### A 会 員 数

区 分	前年度末 会 員 数	新 規 加 入 者 数	脱 会 者 数 (廃業による)	年 度 末 会 員 数
個 人	280	5	10	275
法 人	261	5	8	258
合 計	541	10	18	533

#### 会 費 負 担 口 数 別 会 員 数

口 数	会 員 数	口 数	会 員 数	口 数	会 員 数
1 口	212	8 口	6	23 口	1
2 口	57	10 口	12	25 口	1
3 口	153	12 口	2	30 口	7
4 口	13	13 口	1	35 口	1
5 口	45	15 口	3	50 口	1
6 口	6	18 口	2		
7 口	7	20 口	3		

(議員の選挙は会費1口に付1票、但し、1会員最高50票を限度とする。)

B 部 会

部 会 名	所 属 業 種	所 属 部 会 員 数
商 業 部 会	卸売業、各種商品小売業、織物・衣服身の回り小売、飲食料品小売、自動車等小売、家具・じゅう器家庭器具小売、その他小売	155
建 設 業 部 会	総合建設業、職別工事業、設備工事業	84
工 業 部 会	製造業全般、運輸・通信業	90
環 境 衛 生 部 会	飲食店、サービス業（洗濯・理美容業・浴場・旅館業）	96
庶 業 部 会	農業、林業、金融保険業、不動産業 サービス業（*環境衛生部会のサービス業以外）	108

C 委 員 会

委 員 会 名	委 員 数	主 な 審 議 事 項
商 工 業 振 興 委 員 会	15	地域商工業の振興・育成、その他中小企業の振興対策についての事項
観 光 振 興 委 員 会	14	観光産業の育成、観光客誘致対策等に関する事項
総 務 委 員 会	15	本所の基本的運営並びに他委員会に属せざる事項
小 企 業 等 経 営 改 善 資 金 審 査 会	5	小企業等経営改善資金貸付に係る審査

(2) 特 定 商 工 業 者

区 分	特 定 商 工 業 者	内 訳	
		会 員 数	非 会 員 数
法 人	241	193	48 (43)
計	241	193	48 (43)

( ) は非会員中、負担金を納入している数

(3) 役員

A 平成26年3月31日現在の各役員の定数及び実数

区分	定数	実数	備考
会 頭	1	1	
副 会 頭	2	2	
専 務 理 事	1	1	
常 議 員	13	13	
監 事	2	2	

B 平成26年3月31日現在の役員の氏名、企業の名称及び企業上の地位、企業の業種

役 名	氏 名	企 業 の 名 称 及 び 企 業 上 の 地 位	企 業 の 種 類
会 頭	若 林 輝 彦	(有) か つ や 社 長	薬 局
副 会 頭	山 本 和 則	(株) ダ イ イ チ 会 長	建 設 売
〃	久 山 邦 徳	(株) 久 山 商 店 社 長	文 具 販 売
専 務 理 事	佐 藤 隆	美 幌 商 工 会 議 所	
常 議 員	後 藤 哲 也	(株) 三 共 後 藤 建 設 社 長	建 設 売
〃	永 澤 則 次	(株) な が さ わ 社 長	食 品 販 売
〃	横 山 喜 義	(株) 四 ツ 輪 工 業 社 長	管 工 事
〃	古 舘 繁 夫	(有) 古 舘 板 金 工 業 所 所 長	板 金 売
〃	長 岡 敬 幸	(有) マ リ モ 社 長	洋 品 販 売
〃	宮 田 博 行	(株) 宮 田 建 設 社 長	建 設 売
〃	大 西 均	(有) 大 西 燃 料 店 社 長	燃 料 販 売
〃	菅 原 雅 之	オホーツクネクスト美幌菅原事務所 所 長	税 理 士
〃	中 川 寿 一	三 星 運 輸 (株) 社 長	運 輸
〃	熊 谷 政 博	網走信用金庫美幌支店 支 店 長	金 融
〃	田 村 博 昭	美 幌 貨 物 自 動 車(株) 社 長	運 輸
〃	福 田 孝 俊	(有) ふ く だ 社 長	飲 食 業
〃	塩 島 英 生	クレードル食品(株) 副 社 長	食 品 加 工
監 事	石 澤 信 勝	(株) 電 建 会 長	電 気 工 事
〃	松 田 寿 夫	松 田 部 品 (株) 社 長	自 動 車 部 品

(4) 議員

A 平成26年3月31日現在の各議員の定数及び実数

区 分	定 数	実 数	備 考
1 号 議 員	25	25	
2 号 議 員	15	15	
3 号 議 員	7	7	
合 計	47	47	

B 平成26年3月31日現在の議員の氏名、企業の名称及び企業上の地位企業の業種

氏名	企業の名称及び企業上の地位	企業の業種	備考
1号議員			
有岡 康 則	(株) 有岡木材店 社長	建 材 卸	
猪本 美 行	(有) 猪本製作所 社長	家具・建具製造	
上西 恵	(株) ウエニシ 社長	青果物移出	
大井 正 行	(株) 大井機販 社長	農機具販売	
大西 均	(有) 大西燃料店 社長	燃 料 販 売	
大野 江 二	大野種苗生産販売(株) 社長	種 苗	
高橋 清 文	(株) オホーツク設備 社長	管 工 事	
松浦 和 浩	オホーツクプロジェクト(同) 社長	コンサルタント業	
大野 秀 樹	(株) 後 楽 園 社長	レジャー施設	
山中 敏 文	(有) さ ん け ん 社長	建 築 工 事	
池 功 司	(有)シルバーサポートノア 社長	福 祉 介 護	
鈴木 将 晋	(有) スズキ電器 社長	家 電 販 売	
森 英 樹	(株) 寿しの竹ちゃん 社長	飲 食 業	
種田 善 夫	(有) 種田工務店 社長	建 築	
中村 仁 郎	(有) 中村商店 社長	米 穀 燃 料	
早田 眞 二	(有) 早田写真店 社長	写 真 業	
福谷 和 夫	(有)美幌花園ふくや 社長	生 花 業	
加藤 秀 二	(株)美幌マイカーセンター 社長	車 輛 販 売	
広岡 昭 雄	(有) ひ ろ お か 社長	衣 料 品 販 売	
福田 孝 俊	(有) ふ く だ 社長	飲 食 業	
古舘 繁 夫	(有)古舘板金工業所 所長	板 金	
小形 明	(株) ベストメント 社長	損 害 保 険	
乙武 俊 広	(有) 北 新 電 設 社長	電 気 工 事	
味噌 一 郎	(同)味噌精肉店 社長	精肉卸小売	
横山 喜 義	(株) 四 ッ 輪 工 業 社長	管 工 事	

2号議員				
永澤則次	(株)な が さ わ	社 長	食 品 販 売	商 業 部 会
長岡敬幸	(有)マ リ モ	社 長	洋 品 販 売	〃
前田祐輔	(有)前 田 商 店	社 長	金 物 販 売	〃
若林輝彦	(有)か つ や	社 長	薬 局	〃
久山邦徳	(株)久 山 商 店	社 長	文 具 販 売	〃
山本和則	(株)ダ イ イ チ	会 長	建 設	建 設 部 会
宮田博行	(株)宮 田 建 設	社 長	建 設	〃
田村博昭	美幌貨物自動車(株)	社 長	運 輸	〃
塩島英生	クレードル食品(株)	副社長	食 品 製 造	工 業 部 会
蓮井博文	(株)蓮 井 鉄 工 所	社 長	鉄 骨 工 事	〃
横山直樹	(株)横 山 土 建	社 長	コンクリート製造	〃
三坂重弘	青 葉 荘	代 表	旅 館	環 境 衛 生 部 会
林真男	(有)こ う り ん	社 長	葬 祭 業	〃
松浦章	北見信用金庫美幌支店	支店長	金 融	庶 業 部 会
菅原雅之	オホーツクネクスト美幌菅原事務所	所 長	税 理 士	〃
3号議員				
熊谷政博	網走信用金庫美幌支店	支店長	金 融	
後藤哲也	(株)三 共 後 藤 建 設	社 長	建 設	
中川寿一	三 星 運 輸 (株)	社 長	運 輸	
大沼剛	聖 太 建 設 (株)	社 長	建 設	
田村栄治	(株)田 村 精 肉 店	社 長	精 肉 卸 小 売	
惠本司	日本甜菜製糖(株)美幌製糖所	所 長	製 糖	
橋一幸	(株)北洋銀行美幌支店	支店長	金 融	

(5) 部 会 長 等 (平成26年3月31日現在)

- 商業部会
  - 部 会 長 長 岡 敬 幸 (有) マ リ モ 社 長
  - 副部会長 久 山 邦 徳 (株) 久 山 商 店 社 長
  - 副部会長 前 田 祐 輔 (有) 前 田 商 店 社 長
  
- 建設業部会
  - 部 会 長 後 藤 哲 也 (株) 三 共 後 藤 建 設 社 長
  - 副部会長 古 舘 繁 夫 (有) 古 舘 板 金 工 業 所 所 長
  - 副部会長 猪 本 美 行 (有) 猪 本 製 作 所 社 長
  
- 工業部会
  - 部 会 長 塩 島 英 生 ク レ ー ド ル 食 品 (株) 副 社 長
  - 副部会長 蓮 井 博 文 (株) 蓮 井 鉄 工 所 社 長
  - 副部会長 横 山 直 樹 (株) 横 山 土 建 社 長
  
- 環境衛生部会
  - 部 会 長 福 田 孝 俊 (有) ふ く だ 社 長
  - 副部会長 三 坂 重 弘 青 葉 荘 代 表
  - 副部会長 大 野 秀 樹 (株) 後 楽 園 社 長
  
- 庶業部会
  - 部 会 長 熊 谷 政 博 網 走 信 用 金 庫 美 幌 支 店 支 店 長
  - 副部会長 菅 原 雅 之 オ ホ ー ツ ク ネ ク ス ト 美 幌 菅 原 事 務 所 所 長
  - 副部会長 池 功 司 (有) シ ル バ ー サ ポ ー ト ノ ア 社 長

(6) 委員会等 (平成26年3月31日現在)

商工業振興委員会 (15名)				
委員長	長岡敬幸	(有)	マ リ	モ 社 長
副委員長	宮田博行	(株)	宮 田 建 設	社 長
委員	鈴木将晋	(有)	ス ズ キ 電 器	社 長
委員	塩島英生	(株)	ク レ ー ド ル 食 品	副 社 長
委員	田村博昭	(株)	美 幌 貨 物 自 動 車	社 長
委員	猪本美行	(有)	猪 本 製 作 所	社 長
委員	大沼剛	(株)	聖 太 建 設	社 長
委員	乙武俊広	(有)	北 新 電 設	社 長
委員	田村栄治	(株)	田 村 精 肉 店	社 長
委員	種田善夫	(有)	種 田 工 務 店	社 長
委員	高橋清文	(株)	オ ホ ー ツ ク 設 備	社 長
委員	前田祐輔	(有)	前 田 商 店	社 長
委員	山中敏文	(有)	さ ん け ん	社 長
委員	早田眞二	(有)	早 田 写 真 店	社 長
委員	福谷和夫	(有)	美 幌 花 園 ふ く や	社 長

観光振興委員会 (14名)				
委員長	横山喜義	(株)	四 ツ 輪 工 業	社 長
副委員長	福田孝俊	(有)	ふ く だ	社 長
委員	池功司	(有)	シルバーサポートノア	社 長
委員	永澤則次	(株)	な が さ わ	社 長
委員	中川寿一	(株)	三 星 運 輸	社 長
委員	上西恵	(株)	ウ エ ニ シ	社 長
委員	大井正行	(株)	大 井 機 販	社 長
委員	大野江二	(株)	大 野 種 苗 生 産 販 売	社 長
委員	大野秀樹	(株)	後 楽 園	社 長
委員	加藤秀二	(株)	美 幌 マイカーセンター	社 長
委員	林真男	(有)	こ う り ん	社 長
委員	三坂重弘	(青)	葉 荘	代 表 長
委員	味噌一郎	(同)	味 噌 精 肉 店	社 長
委員	森英樹	(株)	寿 し の 竹 ち ゃ ん	社 長

総務委員会（15名）				
委員長	後藤哲也	(株)三共後藤建設社長		
副委員長	菅原雅之	オホーツクネクスト美幌菅原事務所 所長		
委員	橋一幸	(株)北洋銀行美幌支店 支店長		
委員	大西均	(有)大西燃料店 社長		
委員	古舘繁夫	(有)古舘板金工業所 所長		
委員	熊谷政博	網走信用金庫美幌支店 支店長		
委員	有岡康則	(株)有岡木材店 社長		
委員	惠本司	日本甜菜製糖(株)美幌製糖所 所長		
委員	小形明	(株)ベストミント 社長		
委員	中村仁郎	(有)中村商店 社長		
委員	蓮井博文	(株)蓮井鉄工所 社長		
委員	広岡昭雄	(有)ひろおか 社長		
委員	松浦章	北見信用金庫美幌支店 支店長		
委員	松浦和浩	オホーツクプロジェクト(同) 社長		
委員	横山直樹	(株)横山土建 社長		

(7) 顧問

土谷耕治	美幌町長
古舘繁夫	美幌町議会議長
野村昌二	美幌駐屯地司令
江川清人	美幌警察署長

(8) 参与

横山正造	前副会頭
中村昭士	前監事
有岡貞雄	前監事

### 3. 選挙及び選任

(1) 議員

議員の任期満了による選挙及び選任を次の通り執行した。

なお、選挙委員は平成25年6月25日開催の第319回常議員会において下記の通り選任同意を得た。

選挙長	専務理事	佐藤 隆
選挙委員		加藤 秀二 (株)美幌マイカーセンター)
〃		柴山 淳一 (有)三ツ星電器商会)
〃		杉本 誠 (有)美幌リョーユウ)
〃		早田 眞二 (有)早田写真館)

A. 1 号 議 員 (50音順)

選挙すべき一号議員 25名

選挙の期日及び場所 平成25年10月25日 美幌経済センター

立候補締切日の10月18日午後5時、立候補者定数の25名であり選挙委員会を開催し資格審査の結果、失格者なく立候補者25名を当選者と決定し告示した。

- |    |                   |    |                   |    |                   |
|----|-------------------|----|-------------------|----|-------------------|
| 1  | (株) 有 岡 木 材 店     | 11 | (有) シルバーサポートノア    | 21 | (有) 古 館 板 金 工 業 所 |
| 2  | (有) 猪 本 製 作 所     | 12 | (株) 寿しの竹ちゃん       | 22 | (株) ベストミント        |
| 3  | (株) ウ エ ニ シ       | 13 | (有) スズキ電器         | 23 | (有) 北 新 電 設       |
| 4  | (株) 大 井 機 販       | 14 | (有) 種 田 工 務 店     | 24 | (同) 味 噌 精 肉 店     |
| 5  | (有) 大 西 燃 料 店     | 15 | (有) 中 村 商 店       | 25 | (株) 四 ツ 輪 工 業     |
| 6  | 大野種苗生産販売(株)       | 16 | (有) 早 田 写 真 店     |    |                   |
| 7  | (株) オ ホ ー ツ ク 設 備 | 17 | (有) 美 幌 花 園 ふ く や |    |                   |
| 8  | オホーツクプロジェクト(同)    | 18 | (株) 美幌マイカーセンター    |    |                   |
| 9  | (株) 後 楽 園         | 19 | (有) ひ ろ お か       |    |                   |
| 10 | (有) さ ん け ん       | 20 | (有) ふ く だ         |    |                   |

B. 2 号 議 員

2号議員の数 15名 (商業部会 5名、建設業部会 3名、工業部会 3名

環境衛生部会 2名、庶業部会 2名)

2号議員選任部会総会を10月8・9日美幌経済センターにて開催し、部会長より各々選任届出があり、選挙委員会を開催し資格審査の結果、欠格者なく下記15名を2号議員として選任した。

○ 商 業 部 会

(有) か つ や ・ (株) な が さ わ ・ (株) 久 山 商 店

(有) 前 田 商 店 ・ (有) マ リ モ

○ 建 設 業 部 会

(株) ダ イ イ チ ・ 美 幌 貨 物 自 動 車(株) ・ (株) 宮 田 建 設

○ 工 業 部 会

クレードル食品(株) ・ (株) 蓮 井 鉄 工 所 ・ (株) 横 山 土 建

○ 環 境 衛 生 部 会

(有) こ う り ん ・ 三 坂 重 弘

○ 庶 業 部 会

北見信用金庫美幌支店 ・ オホーツクネクスト経営会計美幌菅原事務所

C. 3 号 議 員

議員選挙規程第6条及び第36条により、1号議員・2号議員の合同会議を9月27日美幌経済センターにて開催し3号議員7名が選任され、選挙委員会を開催し資格審査の結果、欠格者なく下記7名を3号議員として選任した。

選任議員 網走信用金庫美幌支店

〃 (株) 三 共 後 藤 建 設

〃 三 星 運 輸 (株)

〃 聖 太 建 設 (株)

〃 (株) 田 村 精 肉 店

〃 日本甜菜製糖(株)美幌製糖所

〃 (株) 北 洋 銀 行 美 幌 支 店

## (2) 役員

議員選挙に伴う役員の選任について

平成25年11月1日第92回臨時議員総会において選任

会 頭 若林輝彦

副会頭 山本和則・久山邦徳

専務理事 佐藤 隆

常議員 後藤哲也・永澤則次・横山喜義・古舘繁夫・長岡敬幸

宮田博行・大西 均・菅原雅之・中川寿一・熊谷政博

田村博昭・福田孝俊・塩島英生

監 事 石澤信勝・松田寿夫

## 4. 事務局

### (1) 事務局の構成

事務局	部 課 名	所 属 事 務	職員数
事務局	総務課	庶務、会計、経理、会館管理、行事、調査、広報、 美幌峠売店管理	6
	指導課	小規模事業指導業務、青色申告会及び法人会育成 労働保険事務組合	4

### (2) 事務局職員

#### A 職員の職務及び氏名

事務局次長（経営指導員） 横 山 清 美

経営指導員（指導課長） 深 田 裕 二

” 河 野 聡

補助員 伊 藤 健 一

#### B 職員の数

区分	専任職員	経営指導員	補助員	記帳専任職員	傭人	計
男	1	3	1		1	6
女	1				3	4
計	2	3	1		4	10

## 5. 庶務

### (1) 文 書

( ) はファクシミリ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
受信	238 (229)	296 (163)	247 (168)	274 (234)	238 (160)	239 (187)
発信	978 (723)	327 (515)	557 (710)	437 (943)	679 (555)	767 (448)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
233 (276)	316 (215)	244 (169)	197 (205)	247 (145)	265 (218)	3,034 (2,369)
207 (760)	698 (710)	338 (398)	699 (844)	197 (536)	211 (581)	6,095 (7,723)

(2) 表彰・受賞

A 表彰

◎美幌商工会議所商工従業員表彰式（表彰年月日 平成25年11月25日）

- ・特別表彰者（45年以上） 株ながさわ 山本 誠
- ・特別表彰者（40年以上） 株横山土建 宮本 久嗣
- ・特別表彰者（35年以上） 三星運輸(株) 畑中 秀紀 他 3名
- ・勤続25年以上 (有)高橋鉄工 山田 次郎 他 5名
- ・勤続20年以上 美幌自動車学校 菅原 克浩 他 2名
- ・勤続15年以上 (有)ふくだ 古谷 孝司 他 3名
- ・勤続10年以上 (有)かつや 武田 侑貴乃 他 5名
- ・勤続5年以上 藤工業(株) 木村 茂樹 他 8名

B 受賞

◎北海道商工会議所連合会表彰

受賞年月日 平成25年6月7日

表彰規程第3条該当

勤続25年 監事 石澤 信勝

(3) 慶弔その他

関係機関及びその他の式典等に祝辞及び祝意を表し、会員等の不幸には弔慰を表した。  
また、関係団体の転退任に際しては歓送迎会の主催等を行った。

- 5月17日 美幌建設業協会創立60周年
- 7月7日 美幌消防100年記念
- 7月15日 美幌駐屯地創立62周年
- 7月28日 美幌駐屯地池田司令送別会
- 8月30日 美幌駐屯地野村司令歓迎会
- 9月15日 美幌ライオンズクラブ50周年
- 9月22日 美幌青年会議所60周年
- 10月19日 美幌高等職業訓練校50周年
- 11月20日 美幌社会福祉協議会63周年
- 12月2日 オホーツク地域振興機構20周年
- 2月23日 北部方面総監歓迎会

## 6. 会 議

### (1) 議 員 総 会

#### A 通常議員総会

##### ◎第88回通常議員総会

- ・日 時 平成25年6月25日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席議員 議員定数47名中44名（内委任状行使者数12名）、監 事 2名  
専務理事他事務局員 4名

#### 議 題

##### 決 議 事 項

- 第1号議案 平成24年度美幌商工会議所事業報告について
- 第2号議案 平成24年度美幌商工会議所一般会計収支決算報告について
- 第3号議案 平成24年度中小企業相談所特別会計収支決算報告について
- 第4号議案 平成24年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支決算報告について
- 第5号議案 平成24年度役職員退職給与金特別会計収支決算報告について
- 第6号議案 平成24年度財政調整積立金特別会計収支決算報告について
- 第7号議案 貸借対照表並びに財産目録について
- 第8号議案 びほろ納涼花火大会特別会計収支決算報告について
- 第9号議案 買い物宅配・便利サービス事業特別会計収支決算報告について
- 第10号議案 財政調整積立預金取崩しについて
- 第11号議案 創立60周年記念特別会計予算更正について

##### 報 告 事 項

- 1 美幌商工会議所議員選挙期日及び選挙日程について
- 2 選挙委員選任について

##### ◎第89回通常議員総会

- ・日 時 平成26年3月27日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席議員 議員定数47名中45名（内委任状行使者数12名）、監 事 2名  
専務理事他事務局員 4名

#### 議 題

##### 決 議 事 項

- 第1号議案 平成25年度中小企業相談所特別会計収支予算更正案について
- 第2号議案 平成26年度事業計画案について
- 第3号議案 平成26年度会員会費1口の金額及び納付について
- 第4号議案 平成26年度一般会計収支予算案について
- 第5号議案 平成26年度中小企業相談所特別会計収支予算案について
- 第6号議案 平成26年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支予算案について
- 第7号議案 平成26年度役職員退職給与金特別会計収支予算案について
- 第8号議案 平成26年度財政調整積立金特別会計収支予算案について
- 第9号議案 平成26年度一時借入金限度額について
- 第10号議案 買い物宅配・便利サービス事業特別会計収支予算案について
- 第11号議案 びほろ夏まつり特別会計収支予算案について

B 第92回臨時議員総会

- ・日 時 平成25年11月1日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席議員 議員定数47名中42名（内委任状行使者数12名）

議 題

決 議 事 項

- 第1号議案 会頭選任の件
- 第2号議案 副会頭選任同意の件
- 第3号議案 専務理事選任同意の件
- 第4号議案 常議員選任の件
- 第5号議案 監事選任の件

C 議員懇談会

- ・日 時 平成25年6月25日
- ・場 所 肉の割烹田村
- ・懇談内容 商工会議所運営について

(2) 常 議 員 会

◎第319回常議員会

- ・日 時 平成25年6月25日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 13名

議 題

協 議 事 項

- 第1号議案 平成24年度美幌商工会議所事業報告について
- 第2号議案 平成24年度一般会計収支決算報告について
- 第3号議案 平成24年度中小企業相談所特別会計収支決算報告について
- 第4号議案 平成24年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支決算報告について
- 第5号議案 平成24年度役職員退職給与金特別会計収支決算報告について
- 第6号議案 平成24年度財政調整積立金特別会計収支決算報告について
- 第7号議案 貸借対照表並びに財産目録について
- 第8号議案 びほろ納涼花火大会特別会計収支決算報告について
- 第9号議案 買い物宅配・便利サービス事業特別会計収支決算報告について
- 第10号議案 財政調整積立預金取崩しについて
- 第11号議案 創立60周年記念特別会計予算更正について

◎第320回常議員会

- ・日 時 平成25年10月23日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 15名

議 題

協 議 事 項

- 第1号議案 「峠の湯」指定管理者募集申込み参加について

報 告 事 項

1. 議員改選について
2. 創立60周年について

◎第321回常議員会

- ・日 時 平成25年11月21日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 13名

議 題

決 議 事 項

- 第1号議案 美幌商工会議所委員会構成について
- 第2号議案 美幌商工会議所顧問・参与委嘱承認の件

報 告 事 項

1. 「峠の湯」指定管理者プレゼンテーション出席報告について
2. 新年交礼パーティー実施について
3. 第322回常議員会開催について

◎第322回常議員会

- ・日 時 平成25年11月27日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 14名

議 題

決 議 事 項

- 第1号議案 平成26年度美幌町に対する要望事項について

報 告 事 項

1. 美幌町との懇談会開催について

◎第323回常議員会

- ・日 時 平成26年3月27日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 15名

議 題

協 議 事 項

- 第1号議案 平成25年度中小企業相談所特別会計収支予算更正案について
- 第2号議案 平成26年度事業計画案について
- 第3号議案 平成26年度会員会費1口の金額及び納付について
- 第4号議案 平成26年度一般会計収支予算案について
- 第5号議案 平成26年度中小企業相談所特別会計収支予算案について
- 第6号議案 平成26年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支予算案について
- 第7号議案 平成26年度役員退職給与金特別会計収支予算案について
- 第8号議案 平成26年度財政調整積立金特別会計収支予算案について
- 第9号議案 平成26年度一時借入金限度額について
- 第10号議案 買物宅配・便利サービス事業特別会計収支予算案について
- 第11号議案 びほろ夏まつり特別会計収支予算案について

決 議 事 項

- 第1号議案 東北海道商工会議所連絡協議会提出案件について

(3) 監 査 会

- ・日 時 平成25年6月17日
- ・場 所 美幌経済センター
- ・出 席 者 定数 2名 出席者数 2名

## (4) 部 会

部 会 名	年 月 日	議 題
商 業 部 会	25. 9. 19 25. 10. 9	1. 経営セミナー開催支援 1. 二号議員選任の件 2. 部会長及び副部会長の選任の件 3. 部会活動について
建 設 業 部 会	25. 9. 19 25. 10. 9	1. 経営セミナー開催支援 1. 二号議員選任の件 2. 部会長及び副部会長の選任の件 3. 部会活動について
工 業 部 会	25. 9. 19 25. 10. 8	1. 経営セミナー開催支援 1. 二号議員選任の件 2. 部会長及び副部会長の選任の件 3. 部会活動について
環 境 衛 生 部 会	25. 9. 19 25. 10. 9	1. 経営セミナー開催支援 1. 二号議員選任の件 2. 部会長及び副部会長の選任の件 3. 部会活動について
庶 業 部 会	25. 9. 19 25. 10. 8	1. 経営セミナー開催支援 1. 二号議員選任の件 2. 部会長及び副部会長の選任の件 3. 部会活動について

## (5) 委 員 会

委 員 会 名	年 月 日	出席者	議 題
商工業振興委員会	25. 11. 22 26. 3. 11	10 11	1. 平成26年度美幌町に対する要望事項 1. 平成26年度事業計画について 2. 東北北海道連絡協議会要望事項について
観光振興委員会	25. 11. 22 25. 3. 12	9 9	1. 平成26年度美幌町に対する要望事項 1. 平成25年度事業計画について 2. 東北北海道連絡協議会要望事項について
総務委員会	25. 9. 18 25. 10. 7 25. 11. 12 25. 11. 22 26. 3. 13	11 11 10 7 12	1. 創立60周年記念式典について 1. 創立60周年記念式典について 1. 創立60周年記念式典について 1. 平成26年度美幌町に対する要望事項 1. 平成26年度事業計画について 2. 東北北海道連絡協議会要望事項について
小企業等経営改善資金審査会	26. 3. 4	4	審査件数 1件 計 1件

(6) その他の会議

会議名	年月日	出席者	議 題
正副会頭会議	25. 6. 19	8	1. 常議員会並びに通常議員総会に附議する件 2. びほろ夏まつり開催について 3. 創立60周年記念事業について
	25. 8. 5	7	1. 北海道・東北連絡会議参加について 2. びほろ夏まつり開催について 3. 分野別懇談会開催日程について
	25. 11. 11	6	1. 峠の湯指定管理者プレゼンについて 2. 常議員会の開催について 3. 美幌町との懇談会開催について 4. 新年交礼パーティーについて 5. 創立60周年について 6. 従業員表彰式挙行について
	26. 2. 28	8	1. 通常議員総会並びに常議員会日程について 2. 常設委員会の開催日程について 3. 各種事業の進捗状況について 4. 行事予定について
	26. 3. 19	8	1. 常議員会並びに通常議員総会に附議する件

◎各分野リーダー別懇談会

日 時 平成25年8月20日  
出 席 美幌町長・副町長  
美幌町議会議長・副議長  
美幌町農業協同組合長・専務・参事  
美幌商工会議所会頭・副会頭・専務理事

◎美幌町との懇談会

日 時 平成25年6月26日  
場 所 しゃきっとプラザ  
出 席 者 美幌町長・副町長・教育長・各部長  
美幌商工会議所会頭・副会頭・専務理事・常議員・監事

◎美幌町議会議員との懇談会

日 時 平成25年11月25日(月)午後2時より  
場 所 美幌町民会館 2階 特別室  
出 席 者 美幌町議会議員 13名  
美幌商工会議所会頭・副会頭・専務理事

◎職 員 例 会 (毎月1回開催)

## 7. 事 業

### (1) 各種事業活動

#### ①美幌商工会議所創立60周年

##### ○記念式典

日 時 平成25年11月16日(土)午後5時

場 所 美幌経済センター

##### ○記念祝賀会

日 時 平成25年11月16日(土)午後6時30分

場 所 肉の割烹 田村

##### ○記念事業

- ・記念誌の作成(美幌商工会議所60年の歩み)
- ・美幌町に寄付 100万円(イベント用貸出備品購入の一部に)

#### ②観光事業

美幌峠に所有する展望休憩室(指定管理者)・売店を観光客に対し利便を与えた。

#### ③中心市街地活性化事業の実施

イ ポイントカードシステム事業「協同組合スマッピーカードびほろ」事務支援

ロ 空き店舗活用事業 空き店舗対策補助 4店舗  
(リースキン美幌、Wonder、居酒屋 ちらい、デザイン工房バード)

ハ びほろ町内消費拡大セール事業

##### 1. 趣 旨

美幌町連合商店会・協同組合スマッピーカードびほろ・美幌商工会議所の3団体で、消費拡大による美幌町内の経済活性化を目的に「びほろ町内消費拡大セール」を実施。

2. 実施団体：びほろ町内全域消費拡大推進実行委員会

3. 後 援：美 幌 町

##### 4. 事業内容

- ・「プレミアム付プリペイドカードチャージ事業」

日 時 6月15日(土)午前10時～午後3時

会 場 しゃきっとプラザ「集団検診ホール」

内 容 ①10,000円をスマッピーカードにプリペイドチャージする際に、2,000名限定で3,000円のプレミアムを加算。

②18歳以上30歳以下の方(昭和58年4月2日～平成7年4月1日生)

③「小学生以下の子供を養育している方」

上記②③の方に対しては10,000円をプリペイドチャージする際600名限定で5,000円のプレミアムを加算。

- ・プリペイド利用促進イベント

期 間 平成25年6月15日～6月30日

内 容 スマッピーカードのプリペイドにて支払いをされた方限定。

会計の際にプリペイドで500円支払い毎に「スマッピー宝くじ」を1枚進呈し、抽選でファイターズグッズ又は商品券を贈呈する。

##### ニ 協同組合スマッピーカードびほろ大売出しの支援

売出期間 平成25年11月15日～平成26年1月2日

抽 選 会 平成26年1月2日 美幌経済センターにて実施

参 加 店 スマッピーカードびほろ加盟店及び美幌町連合商店会協力店

内 容 福袋、商品券、商店賞等の贈呈。

#### ④タクシーチケット販売事業の実施 (手数料収益 1,109,692円)

⑤美幌町地域開発推進協議会の設置

本会は、美幌町地域の活性化推進を図り、もって住民の生活文化の向上と、産業の振興を積極的に推進し、併せて美幌町地域の活性化に寄与することを目的。

- ・設立総会 8月26日
- ・構成員 美幌町農業協同組合、美幌町森林組合、美幌観光物産協会、美幌建設業協会、美幌町連合商店会、美幌町自治会連合会  
美幌商工会議所 (顧問) 美幌町、美幌町議会

⑥消費税転嫁対策窓口相談等事業

二段階にわたる消費税率の引上げに備え、商工会議所に相談窓口を設置し、地域の中小・小規模事業者からの相談にワンストップで対応することで、地域の中小・小規模事業者が消費税率引上げ分を円滑・適正に価格に転嫁できるよう支援する。

○事業内容

- ・セミナー・講習会等の開催 8月21日、9月11日、9月18日 計22名
- ・個別相談等の実施
- ・巡回訪問・窓口相談等における価格転嫁対策のパンフレット作成周知

⑦講演会の開催

「考えてみよう エネルギーのこと」

日時 平成25年9月19日(木) 18:00～

場所 美幌経済センター

講師 北海道大学 名誉教授 杉山憲一郎 氏

参加者 52名

⑧合同会社びほろ笑顔プロジェクトに対する支援について

- ・美幌豚醤油「まるまんま」販売 (6月1日より)
- ・美幌豚のギフトセット販売 (12月10日発売) 5,000円ギフト限定50セット  
3,500円ギフト限定60セット
- ・ときめき調味料選手権 2013(日本野菜ソムリエ協会主催) 11月3日  
万能調味料部門 優秀賞受賞
- ・緊急雇用創出推進事業受託(平成26年1月6日～12月31日)
  - 地域資源(豚)を活用した新商品開発
  - 地域ブランド商品(豚醬関連)の安定生産、販売体制の確立
- ・視察の受け入れ
  - 日時 平成25年8月27日
  - 場所 役員室
  - 受入先 鹿沼市議会議員行政視察 2名

⑨知的財産戦略を活用した地域ブランド形成モデル事業支援

他人が勝手に使用することを防ぐ「知的財産権」を活用することを取り入れた地域ブランド戦略を立て、ブランドの育成と浸透を図り、地域ブランド形成を通じた地域振興を促進するモデル事業を実施。

- ・会議開催 8月29日、12月16日

- ・美幌町産豚関連商品の商標登録



商標登録を受けようとする商標

⑩買い物宅配・便利サービス事業の実地

高齢者に加え、障害のある方、病気や子供が小さくて買い物に行けなくて不便を抱えている方の買い物を支援するための事業。

- ・登録会員数 183名
- ・利用者数 宅配サービス 48人(延べ325人)  
便利サービス 49人(延べ82人)
- ・移動販売の開始(6月より実施)
- ・緑の苑入居者買い物レクリエーション事業支援 平成26年3月5日

⑪美幌町収入証紙元売り事業

美幌町ごみ有料化に伴い、美幌町一般廃棄物処理手数料の収入証紙元売りの指定を受け、指定ゴミ袋の取り扱いを行なった。

取扱店	62店			
取扱高	100	13,135袋	2,627,000円	(78,810円)
	200	23,050袋	9,220,000円	(276,600円)
	300	16,253袋	9,751,800円	(292,554円)
	400	18,779袋	15,023,200円	(450,696円)
250円証紙	490枚		122,500円	(3,675円)
500円証紙	595枚		297,500円	(8,925円)
		合計	37,042,000円	(1,111,260円)

⑫第1回びほろ夏まつりの開催

夏の風物詩である「花火大会」や「盆踊り」、さらに「美(B)級グルメ」・「本町の特産品PR」などの“食”を通じたイベントを実施。

美幌町民をはじめ近隣市町村の地域住民の方々に“楽しく美味しい真夏のひととき”を提供し観光振興を図るとともに、地域経済の活性化をもたらした。

開催日時 平成25年8月9日(金)午後3時～午後9時  
8月10日(土)午前11時～午後8時

開催場所 美幌小学校グラウンド

参加人員 2日間で延べ約5,000人が参加

- 内容
- (1) 納涼花火大会
  - (2) 美(B)級グルメ屋台村の出店  
オホーツク北見塩やきそば、オホーツク網走ザンギ丼、網走ちゃんぽん  
小清水でんぷんだんご、釧路ザンギ・ザンタレ 阿寒やきとり丼  
別海ジャンボホタテバーガー 美幌豚バーガー
  - (3) 地元屋台村の出店(焼き鳥 お好み焼き おでん しゅうまい など)
  - (4) 美幌豚醬「まるまんま」を使用した「ごぼうのからあげ」無料提供。
  - (5) 盆踊り大会(北海盆唄による一般盆踊り、子供盆踊り)の実施
  - (6) オホーツク管内のゆるキャラ5体が集合
  - (7) 子供ひろば(スマートボール、射的、バルーンアート)の実施

主催 びほろ夏まつり実行委員会  
後援 美幌町

⑬会員サービス事業の実施

- ・商工会議所会員並びに従業員の福利厚生事業の一助として各種共済制度、所得補償制度PL保険制度、医療共済制度や共通優待サービス事業を実施した。
- ・JANメーカーコード登録申請業務及び容器包装リサイクル化委託申請業務を実施した。

⑭美幌町健康増進計画推進委員会事業支援

町民一人ひとりがそれぞれの望む「健康」を得ることができるよう健康づくりを支援し、それを継続できるための環境を整えることを目指し、「美幌町健康増進計画」を平成25年度から29年度の5年間の計画を策定。

・委員会の開催 11月28日、9月28日、12月18日、2月28日

⑮美幌町障害者自立支援協議会事業支援

美幌町に居住する障がい者が地域で安心して生活できるよう支援することも目的に活動。

・協議会の開催 8月22日、12月5日、  
・障害福祉懇話会の開催 4月18日、8月8日、10月17日、2月20日

⑯会員対象特定健診の実施

会員企業の経営者や従業員、並びに家族の健康管理の充実を目的として、国保病院、美幌町ともに特定健診を実施した。

・国保加入者、家族専用  
実施日 平成25年7月28日（日）  
場 所 美幌町立国保病院  
・社保加入者専用 8月以降随時受付

⑰美幌町次世代育成支援推進協議会事業支援

地域における子育ての支援、教育環境の整備、子供を育成する家庭に適した住宅の確保、職業生活と家庭生活との両立の推進その他次世代育成支援対策の実施に関する計画を策定。

・協議会の開催 10月22日、3月5日

⑱美幌地方自衛隊協力会事業支援

美幌駐屯地隊員の激励並びに後援等に努めるとともに、自衛隊の実態を認識し、自衛隊の健全な育成・発展に寄与することを目的に役員として事業支援を行った。

・会議等の開催 幹事会（4月15日）・役員会（5月29日）・総会（5月29日）  
・美幌駐屯地創立62周年記念行事  
・機関紙「北辰新聞」の月1回の発行  
・「大規模災害時等における派遣隊員の留守家族支援に関する協定書」調印式  
・美幌駐屯地案内看板作製

⑲自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会事業支援

美幌駐屯部隊の存置及び充実整備を図り、併せて隊区内市町村の振興に寄与することを目的とした、町内の自衛隊協力諸団体及び経済界の代表により構成された団体「陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会」の一員として事業支援を行った。

・会議等の開催 総会（5月9日）  
役員会（4月3日、8月20日）  
・陳情活動  
日時 平成25年10月10～11日  
陳情先 美幌・帯広駐屯地・帯広地方協力本部・第一特科団・群・北部方面総監部  
日時 平成26年1月27～29日  
陳情先 防衛省内局・陸上幕僚監部・自民党防衛関係代議士  
・各種自衛隊行事に対し参加（諸会議等の出席 参照）

⑳美幌町みどり就労センター事業支援

高齢者の豊かな経験と能力を生かし就労機会の確保に向けた事業の支援を行った。

- ・会議等の開催 総会（4月24日）  
理事会（4月18日、11月14日）

㉑美幌みどりの村振興公社事業支援

自然環境を活用し、地域住民や都市生者に体験学習や野外活動の普及推進を図り、地域の農林業振興と地域住民の健康増進並びに福祉・文化の向上を図る事業の支援を行った。

- ・理事会の開催（5月28日、8月1日、10月25日、3月26日）
- ・その他各種イベントの支援

㉒びほろ元気なまちづくり実行委員会事業支援

まちづくりに関するイベント及び講演会等を実施、まちづくりに対する町民の意識向上を図る事業に対し委員として参画し支援を行った。

- ・びほろ“いいとこ・いいひと”フォトコンテスト2013 実施  
応募期間 8月26日～10月25日
- ・講演会  
日時 11月26日（火）18：30～  
会場 びほーる  
テーマ「思うは招く 夢があればなんでもできる」  
講師 ㈱植松電機 専務取締役 植松 務 氏

㉓美幌・津別地域季節労働者通年雇用促進支援協議会事業支援

季節労働者の通年雇用促進の為、求人開拓、求人情報の事業支援を行った。

- ・総会 5月22日
- ・運営委員会 5月15日、2月21日
- ・セミナー 9月30日、11月6日、1月22日 97人 参加
- ・就職合同面談 平成26年1月30日 5名参加
- ・資格取得講習 平成26年2・3月 受講者 8人

㉔役員・議員に対するFAX通信事業

号数	発行日	掲載事項
152	25. 4. 22	美幌町における景気動向調査報告書
153	25. 5. 16	中小企業旭川校無料セミナーご案内
154	25. 7. 8	オホーツク学力向上推進フォーラムご案内
155	25. 7. 16	美幌町暴力団の排除の推進に関する条例（案）の概要
156	25. 7. 24	美幌町における景気動向調査報告書
157	25. 7. 25	カンタン・ラクラク！ネットで申告！eLTAXご案内
158	25. 8. 27	消費税増税・事前対策セミナー開催のご案内
159	25. 8. 30	エネルギー講演会ご案内
160	25. 10. 17	美幌町における景気動向調査報告書
161	25. 11. 15	びほろ元気なまちづくり実行委員会講演会ご案内
162	25. 11. 26	一日公庫ご案内
163	25. 12. 26	年末年始業務のお知らせ
164	26. 1. 23	美幌町における景気動向調査報告書
165	26. 2. 8	障がい者雇用の一層の推進に関する要請書
166	26. 3. 19	新卒者の採用拡大についてお願い

②⑤美幌高等学校「インターンシップ」事業の支援

勤労や職業観の理解の深化を図り、コミュニケーション能力を養い、地域産業についての理解や地域社会に貢献できる人材育成を目的とする「就業体験」事業の支援を行った。

日 程 平成25年8月 第2学年  
受入企業 30事業所

②⑥美幌町未来を拓くみちの会事業支援

まちづくりの観点から、今後の美幌町の道路のありかたを調査研究する事業を実施した。

- ・「オホーツクの道を考える会」現場見学

日 時 平成25年6月11日  
場 所 北見道路・北海道横断自動車道網走線

②⑦美幌ふるさと祭り事業支援

美幌町手作り出店実行委員会を編成し、暴力団の関係する露店を排除し、町民参加による手作り出店を推進し、美幌ふるさと祭りを実施した。

実施日 平成25年9月4・5・6日  
場 所 神社通り

②⑧青年部活動

1. 会 議

(1) 通常総会

- 1) 日 時 25年4月26日 午後7時  
場 所 美幌経済センター 役員室  
決議事項 ①24年度 事業報告並びに収支決算報告について  
協議事項 ①YEGが創る夢ある北海道会議メンバーについて
- 2) 日 時 26年3月25日 午後7時  
場 所 肉の割烹 田村  
決議事項 ①26年度 事業計画(案)並びに収支予算(案)について  
②美幌商工会議所青年部規約一部変更について

(2) 臨時総会

- 1) 日 時 25年11月6日 午後7時  
場 所 肉の割烹 田村  
決議事項 ①26年度 会長・役員予定者選出について

(3) 役 員 会

- 1) 日 時 25年4月16日 午後6時30分  
場 所 美幌グランドホテル  
議 題 ①24年度 事業報告並びに決算報告について  
②通常総会開催日について  
③5月定例会「美幌豚関係勉強会」開催時期について
- 2) 日 時 25年10月11日 午後7時  
場 所 美幌経済センター 役員室  
議 題 ①26年度 会長予定者選出について  
②臨時総会・役員会の日程について  
③第10回 素敵な出会い交流パーティーについて  
④25年YEGが創る夢ある北海道会議・物産展開催について

- 3) 日 時 25年11月6日 午後6時30分  
場 所 肉の割烹 田村  
議 題 ①臨時総会提出案件について  
②新会員入会について
- 4) 日 時 26年3月7日 午後7時  
場 所 美幌経済センター 役員室  
議 題 ①26年度 事業計画策定並びに収支予算策定について  
②美幌YEG卒業式について
- 5) 日 時 26年3月20日 正午  
場 所 美幌経済センター 役員室  
議 題 ①通常総会提出案件について
- (4) 幹 事 会
- 1) 日 時 25年9月18日 午後7時  
場 所 居酒屋 加賀屋  
協議事項 ①25年YEGが創る夢ある北海道会議・物産展開催について  
②9月定例会の開催について  
③役員会並びに臨時総会の開催について  
④網走YEG創立20周年記念式典参加について  
⑤美唄YEG創立30周年記念式典について  
⑥会員増強への取り組みについて
- (5) 委 員 会
- 1) 素敵な出会い交流パーティー実行委員会  
日 時 25年12月2日 午後7時  
場 所 居酒屋 加賀屋  
協議事項 ① 事業運営・計画について  
参 加 者 星幹事・坂本幹事・小関元春・橋本純一  
オブザーバー 大野江二・松倉宏子・佐々木奈美
- 2) 素敵な出会い交流パーティー実行委員会  
日 時 25年12月11日 午後7時  
場 所 美幌グランドホテル  
協議事項 ① 当日のスケジュール・スタッフについて  
参 加 者 星幹事、長谷川幹事、小関元春・橋本純一  
オブザーバー 日並（農業センター）松倉宏子・佐々木奈美・早川舞子
- 3) 素敵な出会い交流パーティー実行委員会  
日 時 26年1月14日 午後7時  
場 所 美幌経済センター役員室  
協議事項 ①参加者増員対策について  
参 加 者 中川会長、星幹事、長谷川幹事、小関元春・橋本純一  
オブザーバー 松倉宏子、佐々木奈美、早川 舞子

## 2. 事 業

### (1) 定 例 会

- 1) 4月定例会「YEG 綱領・指針勉強会」  
日 時 24年4月26日 午後7時  
場 所 美幌経済センター役員室  
出席者 9名

- 2) 5月定例会「美幌豚関係勉強会」  
 日 時 25年5月17日 午後7時  
 場 所 美幌経済センター役員室  
 出席者 11名
- 3) 6月定例会「facebook活用勉強会」  
 日 時 25年6月24日 午後7時  
 場 所 美幌経済センター役員室  
 出席者 10名
- 4) 10月定例会「今後の美幌 YEG への意見交換会」  
 日 時 25年10月1日 午後7時  
 場 所 美幌経済センター役員室  
 出席者 10名
- (2) 美幌町、美幌商工会議所等への事業支援
- 1) 美幌観光和牛まつりイベント支援  
 日 時 25年7月14日(日) 9:30~12:00  
 場 所 美幌和牛観光祭り会場
- 2) 美幌夏まつり運営支援  
 日 時 25年8月9日・10日・11日 3日間  
 場 所 美幌小学校グラウンド
- 3) 美幌町民新年交礼パーティー  
 日 時 26年1月4日 17:00~19:00  
 場 所 美幌グラウンドホテル
- (3) 北海道 YEG ・他団体との交流
- 1) 美幌国際交流パーティー「若人との交流会」  
 日 時 25年8月23日(金) 18:00~22:30  
 場 所 ビールパーティー／美幌グラウンドホテル  
 若人との交流会／スナック アンサ  
 参加者 中川英保、大沼 泰、坂本美紗、橋本純一、星 哲也、村田将昭  
 和田 隆、伊藤健一
- 2) 北海道 YEG ブロック大会「名寄大会」  
 日 時 25年8月31日(土) 9月1日(日)  
 場 所 駅前交流プラザ「よろいな」ほか  
 内 容 分科会、懇親会、記念式典、記念講演  
 参加者 中川英保、伊藤健一
- 3) 網走商工会議所青年部20周年記念式典  
 日 時 25年10月12日(土) 午後4時  
 場 所 網走セントラルホテル  
 参加者 中川英保、大沼 泰、坂本美紗、橋本純一、松葉博志、藤岡 崇  
 星 哲也、村田将昭
- 4) 道東地区協議会「ブロック交流会」  
 日 時 25年11月9日(土)  
 場 所 ボウル北見ほか  
 内 容 交流会・懇親会  
 参加者 中川英保、坂本美紗

(4) 美幌 Y E G 事業

- 1) 第10回 素適な出会い交流パーティー ※参加者定数が満たないため中止  
日 時 26年1月18日(土) 午後7時  
場 所 美幌グランドホテル
- 2) 2014びほろ冬まつり寒中焼肉パーティーの実施  
日 時 26年2月2日(日) 10:00~14:00  
場 所 冬まつり会場(家畜市場跡地)  
内 容 美幌産牛焼肉パック300、ホルモン・ジングスカン各50販売
- 3) 25年度 美幌 Y E G 卒業式  
日 時 26年3月25日(火)  
場 所 肉の割烹 田村  
卒 業 生 松葉 博志さん

3. 諸 会 議 等 へ の 出 席

諸 会 議 名	開催年月日	参加者名	開催地
道東地区協議会会長会議	25.04.20	中川会長・坂本幹事	北 見 市
北海道 Y E G 平成 25 年度総会	25.05.10	中川会長・事務局	札 幌 市
第 1 回 Y E G が 創 る 夢 ある 北海道 会議	25.05.10	中川会長・事務局	札 幌 市
北海道ブロック会長会議	25.06.22	中川会長	帯 広 市
(同)びほろ笑顔プロジェクト社員会議	25.06.17	星 幹事	会 議 所
第 3 回 北海道 Y E G 夢 ある 会議	25.07.26	中川会長	千 歳 空 港
美幌青年会議所 60 周年記念式典	25.09.22	事務局伊藤	グランドホテル
(同)びほろ笑顔プロジェクト社員会議	25.09.24	星 幹事	会 議 所
(同)びほろ笑顔プロジェクト社員会議	25.11.05	長谷川・星幹事	会 議 所
美幌商工会議所 60 周年記念式典	25.11.16	中川会長	経済センター
(同)びほろ笑顔プロジェクト社員会議	26.01.16	星 幹事	会 議 所

4. 諸 団 体 へ の 加 入 及 び 連 携

- (1) 北海道商工会議所青年部連合会 理事 【中川会長】
- (2) 北海道商工会議所青年部連合会 幹事 【村田副会長】
- (3) 合同会社びほろ笑顔プロジェクト 社員 【長谷川・安井・星・井倉・弥三谷】
- (4) びほろ冬まつり実行委員会 副実行委員長 【中川会長】
- (5) びほろ冬まつり実行委員会 企画委員 【和田顧問】
- (6) 美幌観光物産協会 理事 【中川会長】
- (7) 美幌観光和牛まつり実行委員会 委員 【中川会長】
- (8) 美幌町暴力追放推進協議会 会員 【長谷川幹事】
- (9) 美幌町明るい選挙推進協議会 【和田顧問】

## (2) 意見活動

○第93回東北海道商工会議所連絡協議会提出（5月10日）

○平成25年度自由民主党移動政調会提出

### 社会保険料率の軽減並びに適用拡大の反対について

平成15年4月から、健康保険や厚生年金保険の保険料は負担の公正化を図るため、月額報酬と賞与について同率の保険料を賦課する「総報酬制」へと切り替わった。

それに伴い、平成15年3月以前の賞与に対する保険料率では、健康保険・厚生年金保険料が事業主・被保険者合計で1000分の18が1000分の217.8と10倍以上の負担増となった。

さらに、国は2017年には年収の18.3%（労使折半）まで上げるべく、2004年10月から厚生年金保険料を段階的に引き上げてきており、この保険料の引き上げは、企業の費用負担増となり経営を圧迫するものである。

また、「パート労働者に対する社会保険の適用拡大」法案は、「税と社会保障に関する一体改革」法案の一部として、パート労働者への社会保険適用拡大を従業員数501人以上の企業を対象に、労働時間では現行の「週30時間以上」から「週20時間以上」に、年収を「130万円以上」から「106万円以上（月額賃金88,000円以上）」にとそれぞれ拡大し2016年10月以降から適用実施されることが決定致しました。

これが実施されれば地域経済を支える中小企業にとって過大な負担となり、道内の景気低迷に更に拍車をかけるものである。

ついては、景気浮揚及び消費の拡大を図るためにも保険料の軽減を実現するとともに、パート労働者等非正規労働者の適用拡大がこれ以上実施されないことがないよう強く要望致します。

### 女満別空港の就航体制の整備について

女満別空港は、本州、道央地域を結ぶオホーツク地域における重要な空の交通手段として産業経済の発展、観光振興はもとより文化・スポーツ交流など地域社会の発展に重要な役割を果たしています。

現在、同空港は道内の新千歳、丘珠と、道外では東京、名古屋と結ぶ直行便、大阪（関西）の季節運航（6月～10月）、平成20年11月にILS36（ILS双方向化）が供用開始され離着陸の安全性向上が図られるなど道東観光の拠点、またビジネス客の交通手段として利用されています。

しかし、現在、オホーツク管内への観光客の減少、運航体制の縮小等により、乗降客は年々下降を辿っています。

今後、道内外からのビジネス客、観光客の利用増加を図り、更に東南アジアなど海外から国際チャーター便を誘致するなど利用客の増加を図るため同空港の就航体制の充実、整備が望まれます。

#### 記

1. 国際チャーター便に対応したC I Q施設の整備およびC I Q職員の常駐配置
2. 東京便の女満別始発時間帯の繰上げ
3. 季節運航路線の通年運航化
4. 主要都市とを結ぶ新規路線の開設推進
5. 機材の大型化及び就航便数の増大
6. 北海道新幹線開通に伴う女満別空港—函館空港間の新規路線開設について
7. LCC（格安航空会社）の誘致

## 北海道横断自動車道の整備促進について

北海道は広大な土地に都市が点在しているため、都市間距離は全国の約2倍となっており、その移動に要する時間は当然長く、地方センター病院及び救命救急センターのカバー面積は全国と比べて約4倍となっている。このような広域分散の地域構造にあるなか、移動手段の大部分を自動車に依存しているが、点在する中心都市などを連絡する高速ネットワークの整備は遅れている状況にある。特に広域分散型の構造が顕著な道東地域では、農水産物が全国シェアの上位に位置しているところであり、更なる効率的な輸送と安心・安全な農水産物の輸送が必要不可欠であります。

また、高齢化社会を迎えている本地域では、最近の医師不足による地域医療への住民不安が顕在化するなかで、救急搬送並びに日常の受療動向とも第三次高度医療施設が存在する中核都市へ依存する傾向が強まっており、住民は遠距離の移動で大きな負担を強いられています。

更には、当地域は国内有数の地震発生地域であり、今後大規模な災害が発生した場合、国道の寸断による救急車両の不通、生活関連物資輸送が止まるなどの被害も危惧される。

については、地域基幹産業の競争力を高め、地域医療の格差是正を図り、災害から地域の生命線を確実に確保するために、高規格幹線道路、地域高規格道路並びに国道の整備が促進されるよう要望致します。

特に北海道横断自動車道は、点在する道東の中核都市を効果的に結びつけ、道東と道央を直結させる大動脈として地域の産業・経済の発展、円滑な物流、観光振興などあらゆる面で多大な効果をもたらすことが期待されており、交通ネットワークは全線が開通することにより本来の目的が達成されることから、早期完成を強く要望致します。

### 記

予定路線区間「北見市端野―網走」間の効率的・効果的整備の促進。

特に女満別空港まで直結する「美幌バイパス」と「北見道路」を結ぶ「北見市端野―美幌」間の早期整備

## JR石北本線「旭川―網走」間の高速化及び利便性の向上並びに「札幌―網走」間の車両の快適性向上について

オホーツク地域は道央及び道北地域から遠隔な位置にあるため札幌始め主要都市を結ぶ交通手段の高速性を高めることが地域振興の上で欠くことのできない要件であります。

JR石北本線はオホーツク地域を縦貫する重要な交通手段として地域住民、観光客に利用されているが、現在「旭川―網走」間を走行する性能の高い列車でも時速約95km/hと「旭川・札幌」間の約130km/hに比べると大きな差があります。

また、所要時間も特急列車で「札幌―旭川」間は1時間20分で運行しているのに対して、「旭川―網走」間は諸条件が異なるとしても3時間45分も要しており、さらに、利便性の面で、現在「札幌―網走」間を結ぶ特急列車は1日4往復の運行体制から、その運行時間の間隔が長く、利用に不便を感じています。

更には、長距離路線に欠かせない、いわゆる快適な車両の整備・導入が求められています。

北海道新幹線の開通後における2次交通整備も今後重要な課題となってくることから、地域住民の交通の利便性を高め、オホーツク地域の都市機能の充実向上にJR石北本線「旭川―網走」間の特急列車の増発と高速化の促進、並びに「札幌―網走」間の車両の快適性向上について強く要望致します。

### 記

1. J R 石北本線「旭川―網走」間の高速化
2. 快適で乗り心地の良い車両へのグレードアップ

### 地域高規格道路の整備促進について

高規格幹線道路との連携による全国的な「交通ネットワークの形成」の一環として、道内においても地域高規格道路の整備が進められています。

広大な北海道地域においては、都市間を有機的に結ぶ道路網の整備が重要な課題であるが、北海道横断自動車道と連携した地域集積圏の拡大や、広域物流拠点である重要港湾、広域交通拠点としての空港などと連結する高速交通ネットワークを形成する上で、地域高規格道路の重要性が高まっていることから強く要望致します。

#### 記

1. 道東縦貫道路の計画路線への早期昇格（美幌町 ― 標茶町）

### 道路整備に必要な予算の確保について

道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律等の一部を改正する法律が平成21年4月30日に公布・施行され、平成21年度から道路特定財源はすべて一般財源化されたが、広大な面積を有する北海道においては、分散する拠点都市を有機的に結合させ、立ち遅れている産業構造の高度化を推進させるためにも交通ネットワークの整備は急務を要する課題であるといえます。

つきましては、道路整備が速やかにかつ確実に進められるよう予算の確保を強く要望します。また、地域格差の是正、生活者重視、緊急対策等の視点から地方の活性化、高速道路や高次医療施設へのアクセスの強化、冬期道路の維持管理及び改善、道路防災対策、交通事故対策などのための必要な道路整備の施策が確実に実行されるよう重ねて強く要望致します。

#### 記

1. 分散する拠点都市を有機的に結合し、立ち遅れている産業構造の高度化を推進させるための交通ネットワークの整備
2. 広い北海道の「地域の命をつなぐ緊急医療」のための高速道路網をはじめとした道路整備
3. 北海道の厳しい冬の期間でも、子供たちやお年寄りたちが安全・安心して生活できるための道路整備

### WTO農業交渉と経済連携協定（EPA）の日本提案の適切な対応の実施について

道東地域が魅力ある農村環境を維持し、国民の安全な食料を安定供給するとともに、管内農業・農村の持続的な発展を図っていくためには、WTO・EPA交渉に当たり、多様な農業の共存を目指す我が国の主張が適切に反映されるよう、国民合意の下、確固たる姿勢で粘り強く交渉に望むことを要望致します。

## 記

1. WTO農業交渉に当たっては、農業・農村の多面的機能の発揮や食料安全保障の確保を図るなど、日本提案の実現を目指すというこれまでの基本姿勢を堅持すること。
2. EPA交渉に当たっては、多様な農業の共存と食料安全保障の確保が図られるよう、関税撤廃の例外品目を設定するなど適切に対応すること。

### 北海道における自衛隊体制の堅持について

北海道は我が国の防衛戦略上、極めて重要な拠点として位置付けられ、自衛隊創隊当初から第一線部隊が配置され、国土防衛や地域の安全と安定に大きな役割を果たすとともに、国際的な安全保障環境の構築に寄与してきました。

しかしながら、平成17年度以降、道内の陸上自衛隊は大幅な削減が行われ、総合力からみた北の守りの低下や地域の安全と安定、更には地域の経済・社会に大きな影響を及ぼしています。

東北海道においては、第5旅団並びに第2師団遠軽駐屯地が所在し、北方防衛の最前線に立ってきたが、近年はスリム化の要請に対応しつつ、機動性と即応性を兼ね備えた精強化部隊として高い練度を維持する努力を続けられ、国際貢献活動の主力ともなっている。

加えて、地域住民との相互信頼の絆も厚く、経済、社会、文化などさまざまな面でかかわりを持ちながら地域の発展に大きく貢献しており、東日本大震災以降は、地震、津波など大規模災害への備えが叫ばれる中、地域からの期待は大きいものがあります。

一方で、平成22年に策定された防衛計画大綱並びに中期防衛力整備計画では、人員の大幅な削減は当面回避されたものの、年式の古い戦車多数の退役により戦車部隊の削減が憂慮されるなど、北海道における人員減への懸念は払拭されていません。

特に、北海道は部隊練成に不可欠な大規模演習場が数多く配置されるなど、防衛能力を向上していくための環境が整っており、高度な技術力も持ち即応性や機動性、柔軟性を兼ね備えた動的防衛力の構築を進める上でも、北海道の自衛隊は更に重要な役割を担って行くものと確信しています。

このような中で、本年、防衛計画大綱並びに中期防衛力整備計画の抜本的な見直しが進められることとなったが、北日本地域の安定的な戦略環境と動的防衛力の構築や地域の安全と安定、更には自衛隊創隊以来半世紀以上の長きにわたり、国の防衛政策の推進に積極的に協力してきた北海道の役割や道内に所在する防衛財産の価値を十分に認識され、北海道における自衛隊の体制を堅持されるよう強く要望致します。

### 国土交通省北海道局並びに北海道開発局の存続について

北海道は明治以来、わが国の食料やエネルギー資源などの供給地として位置付けられ、政府は国家的見地から北海道開発に積極的な投資を行ってきました。

現在は、北海道開発法に基づく北海道総合開発計画を企画・立案し、推進する体制として、「国土交通省北海道局、北海道開発局、開発建設部」という組織構成により執行されているが、積雪寒冷や広域分散型社会を反映した北海道特例の継続、公共事業予算の一括計上などの施策とあわせ、総合的な開発の枠組みが有効に機能しています。これらの枠組みによって、例えば、食料の生産基盤である農地や漁港、関連施設などを計画的に整備し、それらを運ぶための道路や港など物流基盤を有機的に構築することで、国益にかなう産業基盤の一体的整備が図られるとともに、地域住民の安全・安心なくらしと産業を守る治水・防災や生活基盤

づくりに大きな役割を果たしています。

こうした中、国土交通省の組織見直しに関して、北海道局の廃止・統合議論が浮上したことや、出先機関改革として一昨年12月に政府が示した「広域的实施体制の枠組み（方向性）」で、国土交通省地方整備局など3つの機関を当面の委譲候補として、国会への法案提出を目指していると伝えられたことで、地域には危機感が広がっています。

北海道局は北海道開発を一元的に担当する局として、財政当局をはじめ各省・各局と対等な立場で調整する機能を有し、全国一律の観点で政策を所管する国土交通省他局とは性格を異にしており、廃止あるいは統合されることになれば、一括計上権や北海道特例が継続されたとしても、北海道開発の枠組みの弱体化・形骸化が危惧されるところであります。

また、北海道開発局についても近年、地方整備局など出先機関の権限委譲と同一視した見方が広がるなど、国土交通省と農林水産省が所管する国の公共事業の実施を一元的・総合的に担う機関としての本質が軽んじられていることは、甚だ遺憾と言わざるを得ません。

地球的規模で深刻化する資源・食料の獲得競争やエネルギー問題、大災害に備えた大規模バックアップ拠点機能の確保など国家が優先して取り組むべき課題の解決に向け、正に国家的見地に立った北海道開発の推進が強く求められている中で、我々北海道民は今こそフロンティアスピリットをもって使命に応え、食料自給率の向上やエネルギーの安定供給などに寄与し、国の発展に貢献して行く所存である。

しかしながら、国土面積の22%を占める北海道の国家的開発を自治体の財政負担によって支えて行くことは極めて困難と言え、他地域と比べ非常に立ち遅れている高速交通・物流ネットワークなど必要とされる社会資本整備や1次産業の振興、さらには国策としての北方領土隣接地域の振興などの面で、北海道局並びに北海道開発局への期待は誠に大きなものがあり、拙速な統廃合や委譲議論は避けるべきである。

については、北海道総合開発体制の国家的使命を確認するとともに、国土交通省北海道局並びに北海道開発局の存続を強く要望致します。

## TPP交渉（環太平洋経済連携協定）に対する適切な対応について

環太平洋連携協定交渉の参加12カ国は10月8日、首脳会議を開いたものの、日本のコメや乳製品など重要5農産物を含む関税分野など進展が見られず、大筋合意が見送られました。一方、自民党はTPP対策委員会の総会を開き、重要5農産物を含めた貿易品目について、関税撤廃の是非の検討を始める方針を決めました。このことは、「聖域」として位置づけてきた重要5農産物の事実上の切り崩しであります。

最大の問題は、いまだに日本政府の明確な戦略が見えないことです。政府は「国益を最大限追求する」と言っていますが交渉参加国が結んだ秘密保持契約を盾に国益自体を明示していない事にあります。

これまでも申し上げておりますとおり、北海道は第1次産業を主に、関連する食品製造業や農業機械の営業所、農産物を運搬する輸送業者など農業関連産業の従事者も多く、地域の崩壊を招くことは明白であります。

また、道東地域のみならず北海道内の産業全体が壊滅的な打撃を受ける大問題であり、国民の大多数が望む食料自給率の向上に逆行することも明らかであります。

政府においては、食と農業を守るという信念のもと、TPP交渉にあたって、多くの国民が共有する国益が損なわれることのないように適切な対応をされるよう強く要望いたします。

## 道内空港の持続的な運営について

広大な面積を有する本道には現在13空港があります。そのうちオホーツク圏には道管理の女満別空港とオホーツク紋別空港の2つの空港があり、オホーツク地域経済の活性化に大変重要な役割を果たし、特に道内と道外間の旅客輸送についてその9割を航空機輸送が担っている現状において、空路は地域住民の生活を支える重要な交通基盤であります。

そのような中、一昨年、国の「空港運営のあり方に関する検討会」が取りまとめられ、国管理空港の空港経営改革を巡る動きが一気に加速しました。

しかしながら、空港の持つ社会的機能は、単なる交通のネットワークではなく、地域の安心、安全な生活に欠かせない極めて公共性の高い施設であり、経営効率のみで判断できるものではなく、観光振興や医療体制の充実など地域に果たす役割は大きなものであります。

本道の特殊性を十分に認識の上、空港ごと・管理主体ごとではなく、それぞれの自治体と協議し地元の実情を踏まえて、地域との連携のもとに、地域経済社会にとって効果的な実行がなされるよう要望いたします。

### ○美幌町商工業の振興並びに育成のため（平成25年11月29日）

平成26年度の美幌町の予算編成にあたり美幌町商工業の振興並びに育成のため、次の事項について特段のご高配を賜りますよう茲に要望致します。

美幌町長 土谷 耕治 殿

#### 要 望 事 項

##### 1 商工会議所運営に関する予算要望について

平成26年度美幌町商工会議所事業運営にあたり下記の通り予算要望をいたしますので美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| (1) 商工会議所中小企業相談所運営費補助金   | 応分な金額 |
| (2) びほろ夏まつり開催に伴う補助金      | 応分な金額 |
| (3) 買い物宅配サービス事業に伴う運営費補助金 | 応分な金額 |

##### 2 陸上自衛隊美幌駐屯部隊の充実整備について

理 由

本町は、昭和26年旧海軍航空隊跡地に当時の警察予備隊美幌部隊が駐屯し、今や全国に誇り得る陸上自衛隊の精鋭部隊の駐屯する町であります。

しかしながら、平成22年12月に、新たな安全保障環境に対応するため閣議決定された防衛計画の大綱により陸上自衛隊の編成定数の削減となりました。

現政権での見直しで、12月に新防衛大綱が決定しようとしていますが、機動性を高め、臨機応変に対応できる形となりつつあります。今後の自衛隊組織の見直しによる部隊の統廃合等が行なわれた場合、美幌駐屯部隊にも影響を与えかねない状況でもありますので、引続き美幌町当局の美幌駐屯部隊の充実整備と常設訓練施設等の候補地活動を要望する次第であります。

### 3 公共事業の確保と早期発注方要望について 理 由

個人消費の低迷、民間設備投資の減少、長年にわたる公共事業の削減等で景気は依然として厳しい状況の中にあり、こうした状況がさらに続けば当地方経済の活力も著しく低下・疲弊します。

昨今の地方自治体の財政状況も極限状態であるとは存じますが、地域経済活性化に向け下記事項について特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

- (1) 建設工事量の安定的確保と地元企業への優先発注
- (2) 「美幌町住宅リフォーム促進助成制度」継続と早期受付開始

### 4 町産品愛用及び町内優先購入方要望について 理 由

当所では、地元産品愛用と町内優先購入の促進を美幌町連合商店会と協力し積極的に活動を展開しているところであり、美幌町におかれましても特段のご支援を賜りますよう要望する次第であります。

また、例年各商店会や組合等で実施致しております地元消費拡大のためのセールやイベント等は、販売促進活動に繋がるよう事業展開を進めていきますので、引続き美幌町中小企業振興条例に基づく助成金を賜ります様特段のご配慮を併せて要望する次第であります。

### 5 町内消費拡大事業に対する支援について 理 由

個人消費の拡大と購買力の流出防止を狙い、美幌商工会議所・美幌町連合商店会・協同組合スマッピーカードびほろで実行委員会を編成し21年度より実施しております販売促進活動も、26年度では消費者はもちろん地元商店街として更なる躍進に向け有効かつ効果的に運用できます様事業展開を致していく所存でありますので、美幌町におかれましても引続き商業の振興、景気回復のため特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

### 6 観光振興計画策定に伴い今後の事業展開の推進について 理 由

本町は、4国立公園と網走国定公園に囲まれ、JR石北線、国道4本、女満別空港が近隣にある交通の要所であります。加えて、阿寒国立公園の景勝地の一つとして天下の絶景「美幌峠」を有しておりますが現状は通過型観光であり、平成25年見込観光客も70万人前後でピーク時から4割以上の減少となります。

そうした状況を踏まえ、観光振興計画の各種事業の早期展開を官民一体となり進め、美幌町の自然環境や地理的利便性を最大限に生かすとともに、投資的な観光も積極的に展開し、滞在型観光を目指し本町の観光活性化に向けていきたいと存じますので美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

また、地域ブランドとしての特産品の開発に取り組んでおりますが、「美幌豚」関連の付加価値のある新商品の開発にも取り組み観光並びに地域活性化に向け鋭意努力致しているところでもありますので引き続き特段のご配慮を併せて要望する次第であります。

## 7 都市基盤整備事業の推進について

### 理 由

本町の都市基盤整備並びに交通安全等の観点から、次の事項について特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

- (1) 花見橋との連結道路網の整備促進（特に交通安全の観点から）
- (2) 国道の整備促進
  - ①「美禽橋並びに美幌橋の架け替え」
  - ②「国道334号線美斜線」
  - ③「国道243号線基点の交差点改良」
  - ④「案内標識看板の改良」
- (3) 町道1号線と国道240号線の交換変更
- (4) 高規格幹線道路（北見市－高野、女満別空港－網走）の整備促進
- (5) 道東縦貫道路（美幌－標茶）の計画路線への早期昇格への促進
- (6) 道々の整備促進
  - ①「駅前停車場線の改良」
- (7) 町道の整備推進
- (8) 歩道の整備（国道・町道）
  - ①バリアフリー化、植栽の整備、改築工事、街路灯・防犯等の整備
- (9) 公共交通機関のアクセス網の促進
  - ①女満別空港発着バスの美幌乗り入れについて
  - ②都市間バス対策について

## 8 公共施設の建設・利活用並びに民間を含めた検討委員会の設置について

### 理 由

様々な公共施設が、本庁舎を含めて老朽化していると思われませんが、町民の利便性に配慮し機能を連携させ、生活弱者や高齢者にやさしく暮らしやすい生活環境が提供できるような公共施設に向けて、財政環境が厳しい中ではありますが一日でも早く民間との共同による建設検討委員会の設置と現在の公共施設の利活用についての利活用検討委員会の設置を次の事項について特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

- (1) 美幌みどりの村周辺の植栽化
- (2) 町民会館老朽化による多機能施設として町の中での建設について
- (3) 峠の湯びほろの施設改善について
- (4) 他の老朽化した建物の検討

## 9 美幌高等学校の学習環境等の充実整備促進について

### 理 由

一昨年4月美幌町内における高校2校の一斉統合により、新設美幌高等学校としてスタートしたところであり、農業クラブ等による全国大会優勝など数々の優秀な成績を収めており、美幌町の名を全国に知らしめているところでもあります。

そうした中で、今後も美幌町の次代を担う人材育成に向け美幌町に相応しい高等学校となるよう学習環境等の更なる充実と今後の少子化傾向に向けての生徒募集対策、

さらに寮や下宿等町外からの生徒に対する補助制度新設に美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

併せて、現在美高ショップ「白樺坂」は、町民に大いに利用されているところでありますが、場所の問題でなかなか足を運べない状況にもあります、つきましては年に数回でも高齢者等に配慮できるよう町の中での販売確保に美幌町の特段のご配慮を要望致します。

#### 10 美幌町への移住・定住の積極的推進について

##### 理 由

北海道内で、団塊世代を中心とした移住の受け入れに積極的な市町村が、「北海道移住促進協議会」を設立し、北海道の魅力発信や移住体験の場を提供するほか、移住相談窓口を設置しており、美幌町におかれましても移住相談ワンストップ窓口の設置、インターネットによる情報提供がなされておりますが、今後も興味のある方々のニーズを把握し、移住・定住に対し積極的な施策に取り組むよう特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

また、今後の美幌町を担うであろう若者の定住促進と住宅投資を促す意味でも、地元企業への発注による住宅建設に対し持家建設奨励金等の制度の新設を併せて要望する次第であります。

#### 11 TMO計画事業の支援方要望について

##### 理 由

中心市街地の活性化取り組みについては、旧法で町に認定を受けた TMO 構想事業が、平成 18 年 6 月の法改正により事業手法を再開発事業として公共施設（文化ホール機能）を取り入れた「にぎわいの駅整備事業」構想として平成 20 年 2 月にまとめあげました。その後、文化ホールの設置については諸般の事情により、他の公共施設へ変更することとなり、種々検討を行なってきたところでありますが、平成 24 年 3 月にいったんリセットをさせていただいたところであります。

しかし中心市街地の活性化は、単に商店街を活性化することではなく、まち全体のコンパクトなまちづくりを進めるマスタープランのもと、居住、公益施設、交通などの要素を中心に、生活拠点として総合的に中心市街地のまちづくりを進めることであることから、このままリセットと言うわけにはいきませんので、今後もまちづくりに向け検討して行く所存でありますので次の事項につきまして美幌町の特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

##### (1) にぎわいの駅整備事業への支援

・「道の駅」開設について

##### (2) 空き店舗活用事業の支援

##### (3) 空き店舗解体に伴う補助制度の創設

#### 12 ケア付き福祉公営住宅の建設について

##### 理 由

美幌町には知的・精神障害者（児）等が相当数在住、その親族も高齢化に伴い親亡き後の当事者たちの地域生活支援について、平成 18 年 2 月公営住宅法施行令の一部を改正する政令により公営住宅の単身入居が認められるようになりましたが、単身で生活できないケースも多々あります。

については、美幌町の将来に向けての福祉を中心とした街づくり並びに移住・定住にも繋がることとなると思いますので、そうした単身で生活できない知的・精神障害者（児）等に対する、ケア付き福祉公営住宅の建設に美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

### 1 3 介護支援者の人材育成並びに教育環境の対応について 理 由

医療技術の進歩や設備の充実により、国民の平均寿命は増加の傾向にあります。平均寿命が延びることは良いことですが、高齢者にとって老化に伴う体力の低下は免れず、介護サービスの需要は増加の一途であります。

2000年に介護保険制度を導入し、それまで行政が行っていた社会福祉事業を民間で行えることとなり、今では美幌町でも豊富な介護・福祉サービスの提供が可能となっております。

しかし、実際には現場で働く介護者が不足しているのが実情であり、そのため介護者1人当たりの仕事量が多く、体力的な理由で離職をせざるを得ない、また仕事と報酬のギャップに悩まされてやむなく転職に至るといったケースも多いようです。

さらには、事業所・施設によっては、約3年で人が入れかわるという状況もまれではなく、今では介護職につこうとしている人自体減少傾向にあるようです。

本来、介護者が心身ともにもっと余裕を持って介護に携わり、よりよいサービスを提供することにより、介護を受ける高齢者が少しでも多くの喜びを得ることができる社会こそが本来あるべき姿だと考えますので、介護支援者の人材育成と教育施設の設置に向け美幌町の特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

### 1 4 起業者（法人設立）への補助制度の創設について 理 由

地域の活性化をめざし今後の美幌町を担うであろう起業家が、移住・定住し商工業の新たな法人を立ち上げる者に対する支援策として、補助制度の創設を要望する次第であります。

## ○陸上自衛隊美幌駐屯部隊の充実整備並びに教育訓練施設の整備等について

（陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会）

陸上自衛隊におかれましては、我が国の平和と独立のため、国土防衛、災害救助、更には国連平和維持活動等の崇高な任務に日夜ご精励されておりますことに、心から敬意を表します。

美幌駐屯部隊におかれましても、屈指の精鋭部隊として道東防衛の任務を果たされるとともに、隊区内2市8町の災害時における出動あるいは諸行事に積極的にご支援頂いておりますことに、心より感謝を申し上げます。

美幌町は、美幌駐屯地創設以来62年の永きにわたり、町民一丸となって駐屯地の協調を図り、防衛意識の高揚を図るとともに入隊者の激励や退官者の地元就職希望者100%受入れ等の努力をし、地域住民挙げて力強くお支えしているところであります。

新しい政権は、防衛力の強化を図るため「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」の見直しを進め新たな大綱と中期防を今年中の策定を目指していることに私共は大いに期待をしているところであります。

自衛隊は国際貢献活動や大規模災害派遣などに的確に、対応してまいりましたが、今後も

こうした活動を継続し充実するためには、全国有数の矢臼別演習場、然別演習場での訓練はもとより両演習場と近距離にある美幌町に新たな射撃訓練施設を配置することにより、道東のこの地で大規模、中規模、小火器射撃が可能となり、極めて効率的なくんれんが行うことができると思います。

また、国土防衛と地域の安全と安心を守るため、新しい装備を持つ部隊の配置に加え、教育訓練施設を美幌町に配置するなど、美幌駐屯部隊の充実整備と体制強化について、次のとおり強く要望致します。

## 記

### 1 長距離（800～1,000m）射撃訓練施設の設置について

#### <理由>

将来の兵器を見据えた最大1,000mの狙撃銃の射撃可能な射撃訓練施設の設置のため、本町の町有地を活用して頂きますよう候補地としての特段のご高配をお願い申し上げます。

### 2 第101特科大隊の充足率の向上と203mm自走榴弾砲後継火砲の早期導入並びに新部隊の配置について

#### <理由>

北海道は、強大な軍事力を有する極東ロシアに接しており、一步対応を誤れば係争事案に発展する可能性もある、極めて厳しい環境におかれています。

北方領土には、1個師団が駐留し装備の近代化に着手している現状を踏まえ、オホーツクの海岸線の防衛と北の脅威に対する抑止力の強化を図るため、陸上自衛隊美幌駐屯地の主力部隊である「第6普通科連隊」、「第101特科大隊」隊員充足率の向上と部隊体制強化と装備の充実整備を図っていただきますよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

特に、火砲の主力部隊であります「第101特科大隊」につきましては、西方重視の傾向にある中で、道東・オホーツク沿岸の地域住民にとって、決して北の脅威がなくなったわけではないことから、北海道の領土防衛のために必要な火砲部隊として維持すべきと考えており、203mm火砲に代わる新型火砲の配置による重火砲部門の充実整備・強化・近代化などについて特段のご高配をお願い申し上げます。

更に、美幌駐屯地の地域の特性と、226haの広大な演習地という恵まれた訓練環境に加え、矢臼別演習場、然別演習場にも近いという地域性により訓練効率面にも優れていることを活かし、多連装ロケットシステム部隊や地対艦ミサイル連隊の導入並びに新編部隊の配置について、特段のご高配をお願い申し上げます。

### 3 保養施設を兼ね備えた教育訓練施設の整備について

#### <理由>

東日本大震災では、美幌駐屯地から470名の隊員が派遣され、長期にわたる捜索活動や救出、輸送支援をはじめ、遺体収容、埋葬など、かつてない過酷な活動に従事されましたが、フラッシュバック現象が心配されることから、隊員のメンタルヘルスやカウンセリングなどが受けられる、教育訓練施設と保養施設を兼ね備えた施設整備が重要であると考えております。

四季折々の豊かな自然環境、そして交通機関の利便性を活かすことのできる美幌町は、派遣隊員の保養施設の最適地であると考えているところであり、是非、本町の町有地や施設を活かした施設整備について、特段のご高配をお願い申し上げます。

(3) 調 査 研 究

A 従業員勤続年数調査

調査月日 平成25年10月1日～10月25日

調査内容 商工従業員勤続表彰のため

B 景気動向調査

調査年月日 6・9・12・3月（四半期毎）

調査方法 小売・卸売・建設・製造・サービス業の5業種の内、予め選定した企業100社に対し、四半期毎に調査を行なった。

(4) 広 報

A 定 期 刊 行

商工びほろ（年6回 美幌新聞「みつめて」に掲載）

B 不 定 期 刊 行

中小企業相談所だより

C そ の 他

中小企業融資制度のしおり・施策普及啓蒙ボールペン・メモ帳

(5) 証 明 ・ 鑑 定 ・ 検 査

A 証 明

貿易関係・国内取引関係証明 該当なし

営業証明 25件

B 鑑 定 該当なし

C 検 査 該当なし

(6) 各 種 行 事

A 講 師 の 派 遣

帯広地方協力本部道東地域援護センター「定年退職者直前教育」

日 時 平成25年9月19日

会 場 美幌駐屯地内教場

テ ー マ 美幌町の商工業について

派遣講師 事務局次長 横山清美

対象者 平成26年度定年退職予定隊員 10名

C行 事

a 美幌商工会議所商工従業員表彰式

日 時 平成25年11月21日

会 場 美幌経済センター

被表彰者 表彰・受賞の項参照

b 協賛行事

1. 美幌観光和牛まつり支援

日 時 平成25年7月14日

会 場 網走川河畔公園

2. びほろ冬まつり支援

日 時 平成26年2月2日

場 所 旧家畜センター跡

D 研修派遣

① 日時 平成25年7月9日～11日  
 会場 旭川市  
 受講者 経営指導員補 伊藤 健一  
 内容 法人税研修

② 日時 平成25年9月17日～19日  
 会場 旭川市  
 受講者 経営指導員 河野 聡  
 内容 販路開拓支援研修

③ 日時 平成25年10月29日～31日  
 会場 札幌市  
 受講者 経営指導員 深田 裕二  
 内容 建設業の経営革新支援研修

(7) 技術技能の普及検定

A 検定

a 簿記

回次	実施月日	人数	1級	2級	3級	4級	合計
第135回	11月17日	受験者数	—	1	1	—	2
		合格者数	—	0	0	—	0
第136回	2月23日	受験者数	—	—	1	—	1
		合格者数	—	—	1	—	1

b ワープロ 該当なし

c 北海道観光マスター 平成25年11月23日実施  
 受験者数 3名 合格者数 3名

B 競技会 該当なし

(8) 取引紹介（照会を含む）斡旋

国内取引

文章によるもの 0件  
 電話によるもの 0件  
 窓口によるもの 0件

(9) 取引紛争の調査、仲裁 0件

(10) 求人活動の相談指導

会員事業所の新規学卒求人对策として相談窓口となり、一括求人活動を行った。

(11) 経営改善普及事業

A 巡回、窓口、相談事業

イ. 経営指導員の設置月数及び稼働日数 36ヶ月 635日

ロ. 巡回による相談及び指導日数 149日

ハ. 相談及び指導の内容及び件数

相談指導内容	巡回	窓口(電話を含む)
経営革新	0	0
経営一般	90	51
情報化	438	111
金融	34	107
税務	97	108
労働	137	158
取引	0	0
創業	0	8
環境対策	0	0
その他	488	14
合計	1,284	557

B 講習会等の開催による指導

イ. 集団指導

開催年月日	講題または指導内容	講師の職業及び氏名	回数	人数
H25.8.21	消費税増税・事前対策 セミナー	税理士 菅原雅之	1	7
H25.9.11	他社に知られたくない! 秘密の生き残り戦略	経営コンサルタント 中丸秀昭	1	8
H25.9.18	消費税増税・事前対策 セミナー	税理士 菅原雅之	1	7
H25.9.19	これからの日本のエネルギーを 考える	北海道大学名誉教授 杉山憲一郎	1	49
H26.3.20	接遇&マナー研修	(有)エスパスマナーアカデミー 成田裕美	1	6
集団指導		計	5	77

ロ. 個別指導

開催年月日	講題または指導内容	講師の職業及び氏名	回数	人数
26.2.25 ～ 26	決算個別指導	経営指導員 横山清美 深田裕二 河野 聡	2	18
26.3.17	消費税個別指導	税理士 菅原雅之	1	12
個別指導		計	3	30

Ｃ 金融の斡旋

		斡旋延べ 件数 (件)	貸付決定 件数 (件)	斡旋総額 (千円)	貸付決定 総額 (千円)
国金 民融 生公 活庫	一般・特別	3	3	11,500	11,500
	マル経資金	1	1	3,000	3,000
	計	4	4	14,500	14,500
その 他	道制度融資	14	14	222,500	222,500
	市町村制度融資	109	109	776,180	776,180
	その他金融機関	-	-	-	-
	計	123	123	998,680	998,680
合計		127	127	1,013,180	1,013,180

Ｄ 社会保険等の事務代行

労働保険	事業所数		従業員数	
		85	358	
各種共済加入者	小規模共済	倒産防止共済	中退金共済	
	238	18	185	

(12) 受託事業

小規模企業共済  
中小企業倒産防止共済  
中小企業退職金共済  
労働保険事務組合

中小企業基盤整備機構  
"  
勤労者退職金共済機構  
労働基準局・北海道商工労働観光部

## 8. 登 録

### (1) 法 定 台 帳

商取引紹介（照会）斡旋に活用した。

- ・作成（又は訂正）年月日 平成25年4月1日～平成25年9月30日
- ・登録業者数 241名

## 9. 会 館 ・ 事 務 所 等

### (1) 土 地

※ 美幌経済センター敷地地積	1,768.04 m <sup>2</sup>
① 美幌町有地 無償借受使用	927.23 m <sup>2</sup>
所 在 美幌町字仲町1丁目44番1	
② 美幌商工会議所所有地	840.81 m <sup>2</sup>
所 在 美幌町字仲町1丁目44番2	(495.06 m <sup>2</sup> )
所 在 美幌町字仲町1丁目1番1	(337.26 m <sup>2</sup> )
所 在 美幌町字仲町1丁目85番2	(8.49 m <sup>2</sup> )
※ 美幌峠売店休憩地地積	738 m <sup>2</sup>
国 有 地 網走営林署より有償借受け	
所 在 美幌町字古梅国有林網走事業区27林班ちりヲ小班	

### (2) 建 物

美幌商工会議所の所有する主たる建物及び物件

#### ◎ 美幌経済センター

RC造（一部SRC造） 3階建

1階 450.78 m<sup>2</sup>（内 町所有 297.16 m<sup>2</sup>、会議所所有  
93.07 m<sup>2</sup>、共有 60.55 m<sup>2</sup>）

2階 424.87 m<sup>2</sup>

3階 450.24 m<sup>2</sup> PH階 27.25 m<sup>2</sup>

合 計 1,353.14 m<sup>2</sup>

#### ◎ 美幌峠レストハウス

鉄骨造 2階建

1階 560.20 m<sup>2</sup>

2階 523.65 m<sup>2</sup>（内 町所有 488.62 m<sup>2</sup>／会議所所有 35.03 m<sup>2</sup>）

合 計 1,083.85 m<sup>2</sup>

### (3) 施 設

#### ◎ 美幌経済センター

美幌商工会議所の所有する経済センターを本町産業経済の発展並びに社会福祉のため、適当と認める集会行事に対し、美幌経済センター運営規程に基づき貸与した。

◎ 美幌経済センター会議室使用状況

平成25年4月1日～平成26年3月31日

( )内は24年度

月	第2研修室 役員室	大会議室A	大会議室B	大会議室	合計
4	6 (4)	0 (0)	3 (4)	1 (4)	10 (12)
5	8 (8)	1 (1)	5 (7)	0 (2)	14 (18)
6	7 (6)	1 (1)	2 (7)	1 (2)	11 (16)
7	9 (6)	0 (0)	1 (3)	2 (0)	12 (9)
8	5 (4)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	8 (5)
9	5 (8)	2 (1)	4 (4)	2 (0)	13 (13)
10	15 (6)	0 (1)	5 (1)	0 (1)	20 (9)
11	9 (13)	0 (0)	2 (3)	4 (2)	15 (18)
12	2 (2)	0 (0)	1 (2)	1 (4)	4 (8)
1	2 (1)	0 (0)	2 (1)	1 (1)	5 (3)
2	7 (4)	0 (0)	1 (4)	0 (0)	8 (8)
3	9 (8)	0 (0)	2 (3)	2 (2)	13 (13)
合計	84 (70)	4 (4)	30 (40)	15 (18)	133 (132)

◎ 貸 室 2 室

美幌建設業協会 / 美幌ロータリークラブ

(同) びほろ笑顔プロジェクト

◎ 美幌峠売店施設 ( 美幌峠物産館 )

## 10. 関係団体への加入及び連携

### (1) 日本商工会議所

#### イ 所属委員会

- ・観光委員会 委 員
- ・地域活性化委員会 委 員

### (2) 北海道商工会議所連合会

#### イ 所属委員会

- ・観光振興委員会 副委員長
- ・地域開発委員会 委 員
- ・地域主権推進特別委員会 委 員

#### ロ 会議等出席

会 議 名	月 日	出 席 者	場 所
東北海道商工会議所専務理事・事務局長会議	4. 5	専務理事他	北見市
オホーツク管内会頭会議	4. 26	会 頭 他	北見市
東北海道商工会議所会頭会議	5. 11	会 頭 他	紋別市
全道商工会議所専務理事会議	5. 17	専務理事	札幌市
東北海道商工会議所要望活動	6. 6	会 頭 他	札幌市
北海道商工会議所連合会通常会員総会	6. 7	会 頭 他	札幌市
全道商工会議所専務理事会議	8. 7	専務理事	札幌市
東北海道商工会議所事務局長会議	8. 19	横山次長	根室市
北海道・東北商工会議所連絡会議	9. 4	会 頭 他	秋田県
全道商工会議所事務局長会議	9. 12	横山次長	浦河町
東北海道商工会議所専務理事・事務局長会議	10. 3	専務理事他	当 所
オホーツク管内会頭会議	10. 10	会 頭 他	遠軽町
全道商工会議所専務理事会議	11. 8	専務理事	札幌市
中小企業相談所長会議	11. 18	深田課長	札幌市
北海道商工会議所連合会会員総会	11. 26	専務理事	札幌市
オホーツク管内専務理事・事務局長会議	1. 23	専務理事	網走市
全道商工会議所専務理事会議	2. 14	専務理事	札幌市
北海道商工会議所連合会通常会員総会	3. 4	会 頭	札幌市

#### ハ 大会・協議会等

##### ・第63回全道商工会議所大会

日 時 平成25年6月29日

場 所 苫小牧市

出席者 会 頭 若 林 輝 彦  
専務理事 佐 藤 隆

##### ・第93回東北海道商工会議所連絡協議会

日 時 平成25年5月10日

場 所 紋別市

出席者 会 頭 若 林 輝 彦  
副会頭 山 本 和 則 ・ 久 山 邦 徳  
専務理事 佐 藤 隆  
事務局次長 横 山 清 美

(3) その他の団体

北海道中小企業総合支援センター  
中小企業オホーツク公和会  
網走管内職業能力開発協会  
美幌町防火管理連絡協議会  
北海道火災共済協同組合  
北海道中小企業共済協同組合  
北見職安管内労働保険事務組合連合会  
北海道社会保険協会北見支部  
北海道ILO協会北見地方支部  
網走地方職業病防止対策連絡協議会  
美幌観光物産協会  
北見電信電話ユーザー協会  
美幌地区危険物安全協会  
美幌地区交通安全協会  
エイチ・イー・エス推進機構  
北見工業大学地域共同研究センター  
東京農業大学生物産業学部協力会  
エア・ドゥオオホーツク友の会  
オホーツク物産振興協議会  
ベストウイズクラブ  
北方圏センター

(4) 町内下記団体の事務代行若しくは、その指導及び事業に協力した。

(社) 網走地方法人会美幌支部  
美幌青色申告会  
美幌町連合商店会  
美幌自衛隊退職者雇用協議会  
美幌警察官友の会  
(協) スマッピーカードびほろ

## (5) 諸会議等の出席

会議等名称	月 日	出席者	場 所
美幌きたしん会総会	4. 1	専務理事	グランドホテル
美幌駐屯地充実整備期成会役員会	4. 3	会頭	しゃきっとプラザ
共済制度担当者会議	4. 3	河野指導員	北見市
スマッピーカードびほろ理事会	4. 3	深田課長	組合事務所
東京美幌会	4. 6	会頭	東京
美幌駐屯地入隊式	4. 7	久山副会頭	駐屯地
美幌高校入学式	4. 8	会頭	美幌高校
美幌町観光物産推進定例会議	4. 9	横山次長	役場
美幌地方自衛隊協力会幹事会	4.1 5	専務理事	当所
みどり就労センター理事会	4.1 8	専務理事	就労センター
北見工大共同研究センター協議会総会	4.2 4	専務理事	北見市
みどり就労センター総会	4.2 4	専務理事	しゃきっとプラザ
美幌観光物産協会総会	4.2 5	専務理事	グランドホテル
オホーツク総合振興局施策説明会	4.2 5	深田課長	網走市
網走地方法人会美幌支部役員会	5. 8	専務理事他	当所
スマッピーカードびほろ理事会	5. 8	深田課長	組合事務所
美幌駐屯地充実整備期成会総会	5. 9	会頭	町民会館
美幌町観光物産推進定例会議	5. 9	横山次長	役場別館
女満別空港利用促進協議会幹事会	5.1 3	横山次長	大空町
美幌青色申告会役員会	5.1 3	河野指導員	当所
オホーツク管内経営指導員連絡協議会	5.1 4	深田課長	北見市
網走地方法人会美幌支部総会	5.1 5	専務理事他	当所
美幌青色申告会総会	5.2 0	専務理事他	当所
支援ネットワーク会議	5.2 1	深田課長	北見市
網走地方法人会総会	5.2 2	横山次長	網走市
美幌町連合商店会役員会	5.2 4	専務理事他	当所
女満別空港利用促進協議会総会	5.2 4	横山次長	大空町
美幌峠まつり	5.2 8	会頭	美幌峠
美幌高校学校評議員会	5.2 7	専務理事	美幌高校
北海道火災共済総代会	5.2 8	専務理事	札幌市
びほろ生き生き商店街総会	5.2 8	深田課長	割烹田村
交通安全協会総会	5.2 9	河野指導員	当所
美幌警察官友の会役員会・総会	5.2 9	会頭他	当所
美幌地方自衛隊協力会役員会・総会	5.2 9	会頭他	美幌駐屯地
青少年育成協議会総会	5.3 0	専務理事	マナセン
女満別空港ビル監査役会	5.3 1	会頭	空港ビル
北電利用説明会	5.3 1	専務理事	北見市
T P P 連絡会議	5.3 1	横山次長	しゃきっとプラザ
自衛隊を考える中央大会	6. 3	会頭	東京
美幌自衛隊退職者雇用協議会総会	6. 5	会頭他	当所
財務行政懇談会	6. 7	山本副会頭	しゃきっとプラザ
女満別空港ビル取締役会	6.1 0	会頭	空港ビル
オホーツクの道を考える会	6.1 1	専務理事	北見市
信用保証協会懇談会	6.1 3	河野指導員	北見市
美幌町戦没者追悼慰霊祭	6.1 4	会頭	しゃきっとプラザ

ハーモニーの会	6.1 4	会頭	みはる
エア・ドゥオホーツク友の会総会	6.2 1	専務理事	網走市
航空基地見学会	6.2 4	専務理事	網走市
美幌地方自衛隊協力会幹事会	6.2 6	専務理事	当所
T P P 総決起集会	6.2 7	河野指導員	北見市
労保連北見地区協議会役員会・総会	6.2 7	河野指導員	北見市
女満別空港ビル株主総会	6.2 7	会頭	大空町
帯広地方協力本部記念式典	6.3 0	専務理事	帯広市
美幌観光和牛まつり実行委員会	7. 1	横山次長	町民会館
マルケイ協議会	7. 2	深田課長	北見市
さっぽろ美幌会	7. 4	山本副会頭	札幌市
美幌駐屯地追悼式・記念式典	7.1 5	会頭	美幌駐屯地
北部方面隊音楽コンサート	7.2 0	会頭	びほーる
T P P 総決起集会	7.2 2	専務理事	北見市
曹友会ふれあいパーティー	7.2 6	会頭	町民会館
北療祭	7.2 8	会頭	療育病院
池田駐屯地司令送別会	7.2 8	会頭	町民会館
北見方面警察官友の会連絡協議会	7.2 9	専務理事	北見市
エネルギー導入推進委員会	7.3 1	専務理事	役場別館
みどりの村振興公社理事会	8. 1	専務理事	グリーンビレッジ
新美幌駐屯地司令着任表敬訪問	8. 2	会頭他	しゃきっとプラザ
町民と体育を語る夕べ	8. 2	会頭	グランドホテル
びほろ生き生き商店街誕生祭	8. 3	深田課長	北洋銀行駐車場
美幌町観光物産推進定例会議	8. 7	横山次長	役場別館
ビッグハウス安全祈願祭	8.1 4	会頭	建設現場
美幌駐屯地充実整備期成会役員会	8.2 0	会頭	しゃきっとプラザ
国際交流ビールパーティー	8.2 3	会頭	グランドホテル
生き生き商店街誕生祭反省会	8.2 7	深田課長	加賀屋
武部代議士国政報告会	8.3 1	久山副会頭	J A 会館
商工会議所青年部北海道ブロック大会	8.3 1	伊藤補助員	名寄市
第5旅団創立記念日	9. 7	専務理事	帯広市
美幌町観光物産振興推進定例会議	9. 9	横山次長	役場
法人会全道大会	9.1 0	横山次長	札幌市
みどりの村ふれあい祭り	9.1 5	専務理事	みどりの村
恵和会との懇談	9.2 2	会頭	割烹田村
支援ポータルサイト利用説明会	9.2 6	深田課長	北見市
峠の湯指定管理者選考委員会	9.2 6	横山次長	役場別館
共済制度担当者会議	9.2 7	河野指導員	北見市
第一特科団長歓迎会	9.3 0	会頭	町民会館
オホーツク食のブランド商談会	10. 2	伊藤補助員	網走市
美幌青色申告会役員会	10. 7	横山次長	当所
スマッピーカードびほろ理事会	10. 9	深田課長	組合事務所
美幌町観光物産振興推進定例会議	10.1 0	横山次長	役場別館
美幌高校全国大会出場壮行会	10.1 7	会頭他	しゃきっとプラザ
北部方面創立61周年	10.2 0	専務理事	札幌市
支援ネットワーク会議	10.2 1	深田課長	網走市
L C C 懇談会	10.2 5	専務理事	網走市

オホーツク A I ミーティング	1 0.3 1	伊藤補助員	北見市
ファイターズ実行委員会	1 1. 1	横山次長	しゃきっとプラザ
網走地方法人会事務局研修	1 1. 6	横山次長	網走市
スマッピーカードびほろ三役会	1 1. 6	深田課長	割烹田村
自民党 1 2 選挙区移動政調会	1 1.1 0	会頭他	北見市
北海道ブランド商談会	1 1.1 1	伊藤補助員	札幌市
青色申告会税の書道展表彰式	1 1.1 2	専務理事他	当所
峠の湯指定管理者プレゼンテーション	1 1.1 3	会頭他	しゃきっとプラザ
美幌高校学校評議員会	1 1.1 9	専務理事	美幌高校
美幌町観光物産振興推進定例会議	1 1.2 1	横山次長	役場別館
防衛省東京美幌会	1 1.2 3	会頭	東京
少年の主張大会	1 1.2 3	専務理事	びほーる
町融資打合せ会議	1 1.2 6	横山次長他	当所
女満別空港ビル監査役会	1 1.2 8	会頭	空港ビル
びほろ冬まつり実行委員会	1 2. 2	深田課長	町民会館
J A 試食会	1 2. 4	専務理事他	J A 会館
スマッピーカードびほろ理事会	1 2.1 1	深田課長	組合事務所
環境マネージャー研修会	1 2.1 2	深田課長	札幌市
隊友会年忘れ会	1 2.1 4	会頭	町民会館
美幌警察官友の会慰問	1 2.1 6	会頭他	美幌警察署
美幌町観光物産振興推進定例会議	1 2.1 9	横山次長	役場別館
女満別空港ビル取締役会	1 2.2 0	会頭	網走湖荘
駐屯地年忘れ会	1 2.2 1	会頭	美幌駐屯地
駐屯地充実整備期成会役員会	1 2.2 4	会頭	しゃきっとプラザ
除夜祭及び元日祭	1. 1	会頭	美幌神社
美幌町民新年交礼パーティ	1. 4	会頭他	グランドホテル
消防出初式	1. 6	会頭	消防署
北海道新聞社北見支社新年交礼会	1. 7	専務理事	北見市
オリンピック激励看板掲出式	1. 9	会頭	役場
ロータリークラブ家族例会	1. 9	会頭	グランドホテル
美幌建設業協会新年交礼会	1.1 0	会頭	グランドホテル
成人の集い	1.1 2	会頭	びほーる
美幌駐屯地成人祝賀会	1.1 4	会頭	美幌駐屯地
自治会連合会新年交礼会	1.1 6	会頭	グランドホテル
高橋文明新春の集い	1.1 8	会頭	J A 会館
税務指導所事務連絡会議	1.2 3	河野指導員	網走市
生き生き商店街新年会	1.2 4	深田課長	割烹田村
自衛隊父兄会美幌地区懇親会	1.2 6	会頭	町民会館
びほろ冬まつり差し入れ	1.2 7	専務理事他	冬まつり会場
オホーツク管内経営指導員連絡協議会	1.3 0	河野指導員	網走市
更正保護司会説明会	2. 4	専務理事	当所
美幌農業クラブ O B 会	2. 5	会頭他	グランドホテル
美幌観光物産協会理事会	2.1 2	専務理事	青葉荘
スマッピーカードびほろ理事会	2.1 2	深田課長	組合事務所
鈴木宗男新春交礼会	2.1 5	久山副会頭	グランドホテル
自衛隊新入隊員を励ます会	2.2 2	会頭他	町民会館
日下道議新春交礼会	2.2 3	会頭	J A 会館

スマッピーカードびほろ通常総会	2.28	深田課長	当所
美幌高校卒業式	3.1	会頭	美幌高校
土谷耕治新春の集い	3.1	会頭	町民会館
烏里自治会高齢者懇談会	3.4	横山次長他	烏里会館
特科群銃剣道大会応援・歓迎会	3.6	会頭	美幌駐屯地他
商店街支援施策説明会	3.14	深田課長	北見市
武部代議士新春の集い	3.14	会頭	グランドホテル
美幌神社豊穰祈願祭	3.17	久山副会頭	美幌神社
美幌警察署長送別会	3.18	会頭	グランドホテル
美幌高校学校評議員会	3.19	専務理事	美幌高校
6次化産業検討会	3.20	伊藤補助員	網走市
産業保健センター協議会	3.20	専務理事	北見市
美幌駐屯地業務隊長送別会	3.21	会頭	割烹田村
町融資打ち合わせ会議	3.24	横山次長他	当所
網走地方法人会事務局研修	3.25	横山次長	網走市
女満別空港利用改善協議会幹事会	3.25	横山次長	大空町
美幌地方自衛隊協力会幹事会	3.26	専務理事	当所

### 11. その他

- (1) 人口 20,835人 (平成26年3月31日現在)
- (2) 商工業者 941事業所 (事業所統計)
- (3) 小規模事業者数 670事業所 (事業所統計)